

MD-1500

スキャナユーザーズマニュアル

はじめに

このスキャナユーザーズマニュアルは、MD-1500を使用して説明しています。MD-4000S/Jをお使いの場合は、「MD-1500」を「MD-4000」に置き換えてお読みください。また、「スキャナへの原稿のセット方法」、「プリンタの使用方法」については、お手持ちのプリンタに添付されているマニュアルをお読みください。

* マニュアルで説明しているアプリケーションソフト「PhotoAssistant」は、今回のアップデートサービスのBキットおよびCキットに入っています。

本書の見方

本書は、本スキャナプリンタのスキャナ機能を充分にご活用いただくためのマニュアルです。MD-1500スキャナや添付のアプリケーション「Micro Dry™ CopyStudio」(以降「CopyStudio」)を使用して、写真などを取り込む方法、取り込んだ画像を印刷(コピー)する方法、ファックス送信する方法、ファイルとして保存する方法などを説明しています。

また、スキャナから取り込んだ画像の範囲、色、画質などを調整する「Micro Dry™ Scanner Driver」(以降「Scanner Driver」)についても説明しています。

以下を参照して、使い方に応じた適切なページをお読みください。

本書の構成

第1章 MD-1500スキャナの準備

この章では、MD-1500スキャナで原稿を取り込むために、必要なソフトウェアと準備作業の概要を説明します

第2章 CopyStudioの使い方

この章では、MD-1500スキャナから取り込んだ原稿を手軽にコピー、ファックス送信、ファイル保存するアプリケーションソフト「CopyStudio」の基本的な使い方と機能を説明します。

第3章 Scanner Driverの使い方

この章では、Scanner Driverの機能と操作方法を説明します。

Scanner Driverは、MD-1500のスキャナを機能させ、画像をコンピュータに取り込むことを目的としたTWAIN仕様*のドライバソフトです。スキャナをお使いになる場合に必ず必要になります。

第4章 他のアプリケーションからの使い方

この章では、TWAIN対応のアプリケーションからScanner Driverを呼び出して画像を取り込む方法を説明します。

付録

付録には、MD-1500スキャナに関するQ&Aを掲載しています。

* TWAINとは、スキャナで取り込んだ画像をコンピュータに入力するインターフェースの規格です。TWAIN仕様のスキャナ及びスキャナドライバをお使いになり、これに対応したアプリケーションソフトが使用できる場合、そのアプリケーションソフトからスキャナを使用することが可能です。

本書での表記

- 本書では以下のようなマークを示し、操作上の注意事項や参考となる内容を説明します。



ポイント

操作のポイントとなることを補足説明します。



参考

関連する操作や知っておいてほしいことを説明します。



注意

操作する上で注意してほしいことを説明します。

- 本書では、特に断りのない限り、Windows 95の操作方法や図を用いて説明します。
- 本書では、Windows版とMacintosh版の操作の違いについて以下のようなマークを示して説明しています。



Windows版専用の操作について説明します。



Macintosh版専用の操作について説明します。

Contents

目次

はじめに	1
本書の見方	2
第1章 MD-1500スキャナの準備	7
CopyStudioとは? Scanner Driverとは?	8
CopyStudioとは	8
Scanner Driverとは	9
CopyStudioとScanner Driverの準備	10
動作環境について	10
動作確認するには	11
スキャナへの原稿のセット方法	15
原稿として扱えるもの	15
原稿のセット方法	16
第2章 CopyStudioの使い方	19
CopyStudioの使い方	20
環境設定について(必ず確認と設定を行ってください)... ..	20
原稿をコピーするには	22
原稿の一部をコピーするには	26
原稿をファックス送信するには	33
取り込んだ原稿をファイルとして保存するには	37
保存したファイルを活用するには	40
保存したファイルをファックス送信する	43
保存したファイルを登録したアプリケーションで読み込む	46
ポスターを作成するには	49
[CopyStudio]ダイアログ各部の機能	50
[印刷設定]ダイアログについて	58
[ファイル名を付けて保存]ダイアログ(保存ファイル形式)について ...	61

第3章	Scanner Driverの使い方	63
	Scanner Driverの呼び出し方	64
	Scanner Driverの機能	65
第4章	他のアプリケーションからの使い方	77
	TWAIN対応のアプリケーションとは	78
	TWAIN対応のアプリケーションからScanner Driverを使う	79
	Scanner Driverを有効にする	79
	アプリケーション側から Scanner Driverを呼び出す ...	81
付 録	83
	MD-1500スキャナQ&A	84
	画像取り込みができないPC98シリーズ機種	90
	索 引	91

第1章 MD-1500 スキャナの準備

この章では、MD-1500 スキャナを使って画像(原稿)を取り込み、活用するために必要な「CopyStudio」, 「Scanner Driver」のおもな機能と準備方法、MD-1500 スキャナへの原稿のセット方法について説明します。

Chapter 1 CopyStudioとは? Scanner Driverとは?

CopyStudio とは

CopyStudioは、MD-1500をカラープリンタとしてだけでなく、スキャナとして写真などの取り込みやファックス原稿の取り込みに活用したり、取り込んだ原稿をファイルとして保存したりできる、便利なアプリケーションソフトです。



CopyStudioの基本的な機能は次のとおりです。(各機能の詳細は第2章を参照してください)

基本操作

- 原稿の取り込みと印刷(コピー機能)
- 原稿の取り込みとファックス送信
- 原稿の取り込みとファイルへの保存
- 保存してある画像ファイルの読み込みと印刷

印刷時のオプション

- 分割拡大印刷(2分割、4分割、8分割[A1サイズ相当])
- センタリング(印刷用紙の中央に印刷)
- 自動フィッティング(印刷用紙のサイズに自動的に拡大して印刷)

Scanner Driverの呼び出し(連携)

CopyStudioとScanner Driverは連携しながら動作していますので、CopyStudioで設定した項目はScanner Driverに反映されます。

また、原稿取り込みに関する詳細な設定をする場合には、[応用コピー]ボタンをクリックするだけで、Scanner Driverを前面に呼び出して操作することができます。



注意

ファックス送信するには、ファックスドライバが別途必要です。

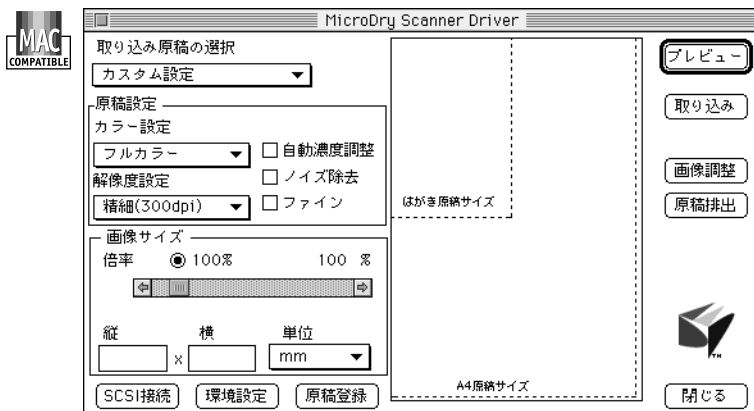


参考

Windows95にはMicrosoft Exchangeを組み込むとファックスドライバがインストールされます。

Scanner Driver とは

Scanner Driver は、MD-1500スキャナを機能させ、原稿をコンピュータに取り込むことを目的としたTWAIN仕様のドライバソフトです。スキャナ機能をお使いになる場合に必ず必要です。



Scanner Driver の主な設定項目は次のとおりです。(設定項目の詳細は第3章を参照してください)

- 解像度設定
- 画像サイズ、範囲の設定
- 画像のカラー、濃淡、特殊効果の設定
- ユーザ定義原稿の属性の登録
- 原稿の厚さ、256カラー時の減色方法の設定
- ポート設定(Windows版)
- SCSI接続(Macintosh版)

CopyStudioとScanner Driverの準備

動作環境について

CopyStudio と Scanner Driver を正しく動作させるためには、以下のシステム環境が必要です。



Windows版

対応機種： IBM PC-AT および互換機 (DOS/V機)

NEC PC9800シリーズ(一部のNEC PC9800シリーズおよび互換機には対応しないものもあります。詳細は、注意および巻末の資料を参照してください)

オペレーティングシステム： Windows 3.1以降
Windows 95

メモリ： 最低8MB、推奨16MB以上

ハードディスクの必要容量： 5MB以上



Macintosh版

対応機種： Apple Macintoshシリーズパソコン(Macintosh 以降)

オペレーティングシステム： 漢字Talk7.01以降

メモリ： 最低12MB、推奨16MB以上

ハードディスクの必要容量： 5MB以上



注意

- PC98シリーズには、双方向通信をサポートしていない機種が存在します。双方向通信がサポートされていないと、画像を取り込めません。PC9801NL/Rを除く、PC9801BA2以降の機種では、双方向通信がサポートされています。詳しくは、お使いのコンピュータのマニュアルおよび巻末の資料を参照してください。
- エプソン製のPC98互換機では、画像は取り込めません。
- PC98シリーズのプリンタケーブルには、プリンタボードでの双方向通信ができないものがあります。この場合、当社の純正品またはWindows95対応のプリンタケーブル、もしくはNEC製PC-CA202及び同等品を使用してください。
- スキャナで画像を取り込む場合は、取り込む原稿の大きさや画像の色数、解像度などによって、画像の大きさが変わりますので、画像の大きさに見合ったメモリが必要になります。このため、メモリの容量に充分余裕がある状態でご使用になることをお奨めします。
- 容量の大きな画像を取り込む場合は、ハードディスクに作業用ファイル(テンポラリーファイル)を設け、作業用ファイルに取り込んだ画像を保管します。このため、ハードディスクにも充分な空き容量があることを確認してください。なお、作業用ファイルに必要な空き

容量の大きさについては、付録の「MD-1500 スキャナQ & A」の「ファイルの大きさの目安」を参照してください。

- Windows版では、ほとんどのプリンタバッファやプリンタ分配機はプリンタポートでの双方向通信をサポートしていません。これらの機器を通してコンピュータとMD-1500を接続した場合、印刷はできても画像は取り込めないという症状がおきます。

動作確認をするには

次の手順でCopyStudioを起動してインストールが正常に行われたかどうかを確認してみましょう。なお、コンピュータとプリンタの接続については、「MD-1500ユーザーズマニュアル」を参照して接続し、プリンタの電源をONにしておいてください。



Windows95でCopyStudioを起動 / 終了する

CopyStudioの起動

[スタート]メニューから[プログラム]>[MD CopyStudio]>[MD CopyStudio]を選択します。



参考

Windows3.1でCopyStudioを起動する場合は、[プログラムマネージャ]から[MD CopyStudio]グループボックスを開き、[CopyStudio]アイコンをダブルクリックします。

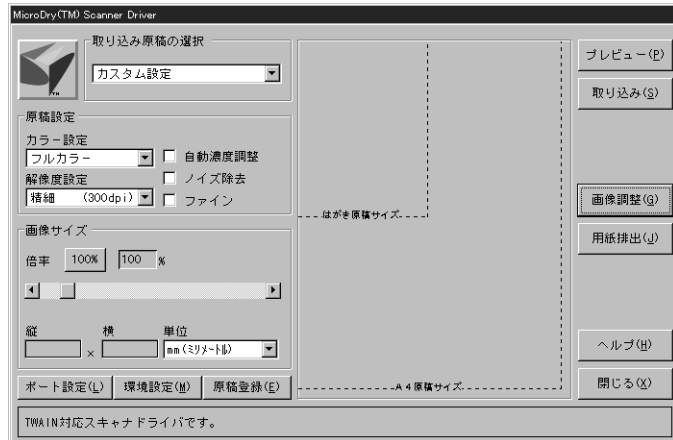
[CopyStudio]ダイアログ

CopyStudioが起動すると、次の画面が表示されます。



[Scanner Driver]ダイアログ

[CopyStudio]ダイアログの[出力先の選択]で[ファイル保存]ボタンをクリックして[応用コピー]ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。



MD-1500との接続の確認

[Scanner Driver]ダイアログの[ポート設定]ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。

プリンタ名が確認できれば、MD-1500からの入力/出力が行えます。



CopyStudioの終了

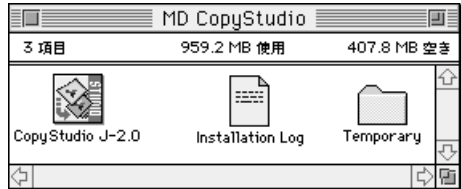
[CopyStudio]ダイアログの[終了]ボタンをクリックします。CopyStudioが終了します。



MacintoshでCopyStudioを起動 / 終了する

CopyStudioの起動

インストールしたハードディスクの中にある[MD CopyStudio]フォルダの次のアイコンをダブルクリックします。



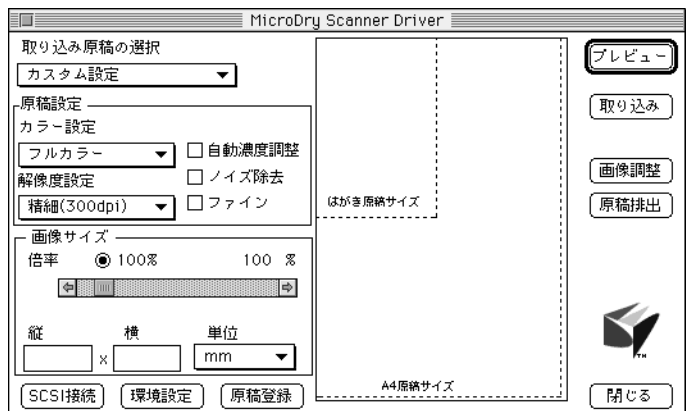
CopyStudioのダイアログ

CopyStudio が起動すると、次の画面が表示されます。



[Scanner Driver]ダイアログ

[CopyStudio]ダイアログの [出力先の選択]で [ファイル保存] ボタンをクリックして [応用コピー] ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。



MD-1500との接続の確認

[Scanner Driver]ダイアログの[SCSI接続]ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。

プリンタ名が確認できれば、MD-1500からの入力が行えます。



参考

上記の表示はSCSIが2系統ある場合です。1系統の場合は[SCSI#6]のように表示されます。



注意

2台以上のMDスキャナプリンタが接続されている場合は、Scanner Driver起動時に、必ず使用するプリンタを選択してください。

プリンタ名がハイライト表示されていたら[選択]ボタンをクリックしてダイアログを閉じ、[閉じる]ボタンをクリックして[Scanner Driver]ダイアログも閉じます。

CopyStudioの終了

[CopyStudio]ダイアログの[終了]ボタンをクリックします。CopyStudioが終了します。

スキャナへの原稿のセット方法

MD-1500や必要なソフトウェアの準備ができれば、スキャナで取り込む原稿をセットします。

ここでは、原稿のサイズや厚み、原稿のセット方法について説明します。

原稿として扱えるもの

MD-1500スキャナで取り込むことができる原稿は、次の条件に合ったものです。

大きさ：A4サイズ(約210mm×297mm)以下

(最大画像取り込み範囲は、197mm×288mm以内)

厚み：0.3mm以下

写真では、Eサイズ、Lサイズ、2Lサイズ、パノラマなどが取り込めます。印刷物などでは、A4サイズ以下のものや官製はがきなどが取り込めます。



注意

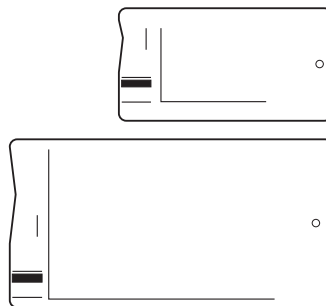
- 写真などを切り貼りして作成した原稿を取り込むこともできます。この場合、厚みは普通紙に写真1枚を貼り付けた程度にしてください。それ以上厚くなると紙詰まりの原因になります。また、切り貼した原稿は、ムラが出たり、縁がにじむことがあります。
- 雑誌のグラビアなどの印刷物は、取り込んだ画像に縞模様が出ます。
- 薄い紙の場合、裏面の画像を取り込んでしまうことがあります。
- OHP、ネガフィルム、メタリックや蛍光印刷やホログラムなどは取り込めません。
- 鉛筆書きや筆記後乾いていない書類などは原稿ホルダを汚してしまうことがあります。
- 紙幣や有価証券などの複写は禁じられています。
- 以下のものはMD-1500を破損する恐れがありますので、絶対に原稿として使わないでください。
 - 金属、セラミック、ガラスなどの硬いもの
 - 鋭利なものや角がとがったもの
 - 原稿ホルダからはみ出す大きさのもの
 - 有機溶剤などの化学物質がしみ出す恐れがあるもの
 - 枯れ葉やドライフラワーなどの壊れやすいもの

原稿のセット方法

原稿は、必ず原稿ホルダにセットしてからMD-1500にセットします。原稿ホルダを使用しないと、原稿を取り込むことができません。また、故障の原因になる恐れがあります。

Step 1 原稿ホルダを準備する

原稿ホルダには、A4サイズ用と写真サイズ用の2種類があります。原稿の大きさに準じて使い分けてください。



写真サイズ用原稿ホルダ(上)とA4サイズ用原稿ホルダ(下)

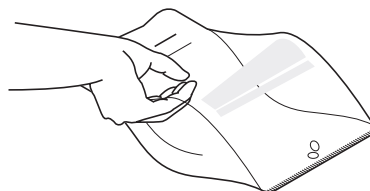


注意

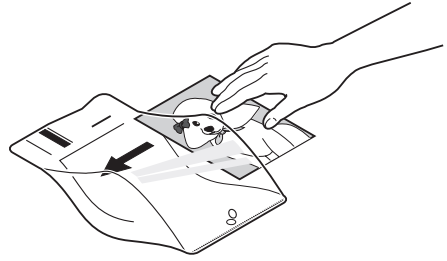
- 原稿ホルダに変形があると、正常に画像を取り込めないことがあります。原稿ホルダに原稿を入れた状態で平面に置き、原稿ホルダの浮き上がり量が2mm以下になるように手で直してください。
- 原稿ホルダの上部の表示(バーコード)が汚れていると使用できなくなりますので、ご注意ください。
- 原稿ホルダに汚れやキズ、折り目などがつくと、画像にこれらも取り込まれますので、原稿ホルダの取り扱いには充分注意してください。万一、原稿ホルダを破損したり、傷つけてしまった場合には、「ユーザーズマニュアル」の巻末にある「サプライ品一覧」を参照し、別途原稿ホルダをお買い求めください。
- 湿度が高く、写真の表面がベタついているときは、その写真を原稿にしないでください。写真や原稿ホルダを傷つけることがあります。

Step 2 原稿ホルダに原稿をセットする

- ▼ 原稿ホルダの透明なカバーと白い台紙の間にすきまを開けます。



- ▼ 白い台紙のガイドラインに沿って原稿を上向きに滑り込ませます。



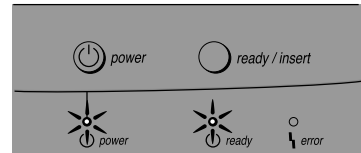
注意

台紙のガイドラインからはみ出さないように原稿をセットしてください。はみ出した部分の画像は取り込めません。また、A4サイズ用原稿ホルダでは、ガイドラインより内側約3mm以内の画像が取り込めません。

- ▼ 原稿がずれないように注意して、透明なカバーで原稿を押さええます。

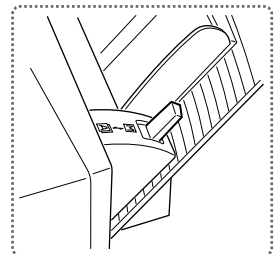


Step 3 MD-1500の電源を入れ、powerランプ、readyランプが点灯しているかを確認する

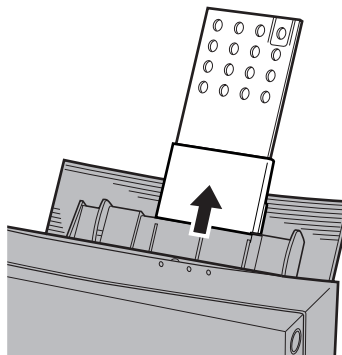


Step 4 原稿ホルダをMD-1500にセットする

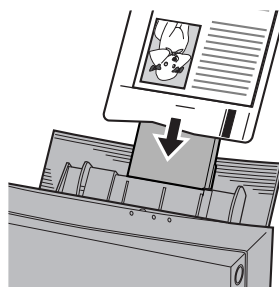
- ▼ プリンタの給紙切替レバーを「M」にします。



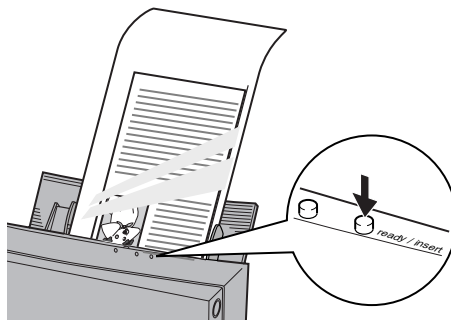
- ▼ 用紙サポートを2段階引き出します。



- ▼ 原稿ホルダを用紙トレイの右側に寄せて、矢印方向にセットし、用紙ガイドを原稿ホルダ幅に合わせます。



- ▼ ready/insertボタンを押します。
スキャニングする位置まで原稿ホルダが引き込まれます。

**注意**

原稿ホルダが曲がって入った場合は、もう1度ready/insertボタンを押すと原稿ホルダが用紙トレイに排出されます。再度原稿ホルダをセットする場合は、プリンタのreadyランプが点灯していることを確認して行ってください。

第2章 CopyStudio の使い方

この章では、MD-1500スキャナから取り込んだ原稿を手軽にコピー、ファックス送信、ファイル保存するアプリケーションソフト「CopyStudio」の基本的な使い方と機能を説明します。

CopyStudioの使い方

ここでは、CopyStudioの主な使い方について、その操作手順を説明します。また、CopyStudioを操作する上で必要な環境設定についても説明します。

環境設定について (必ず確認と設定を行ってください)

CopyStudioをインストールして起動を確認したら、[CopyStudio]ダイアログの[環境設定]ボタンをクリックして表示される[環境設定]ダイアログの各項目について、あらかじめ設定しておく必要があります。

なお、各項目の設定方法の詳細については、本章の「[CopyStudio]ダイアログ各部の機能 [環境設定]ボタン」の節を参照してください。



- [**テンポラリファイルの設定**]..... CopyStudioで作業中に、取り込んだ原稿を一時的に保管しておく場所を設定します。通常は指定しなおす必要はありませんが、テンポラリファイルの容量が大きくなる場合も考慮して、十分な空き容量があるハードディスクを設定します。なお、必要な空き容量は、付録「MD-1500スキャナQ&A」の「ファイルの大きさの目安」を参照してください。
- また、[**圧縮機能を使用する**]チェックボックスをチェックすると、作成されるテンポラリファイルを圧縮することができます。
- [**ファイル保存先の設定**]..... [**ファイル保存**]ボタンをクリックして取り込んだ画像をファイルに保存する時の保存先のフォルダを指定します。
[**ファイル操作**]ボタンをクリックして参照されるフォルダもここで設定した保存先になります。
- [**プリンタ/ファックスの設定**] 取り込んだ原稿をCopyStudioから出力する時のプリンタドライバとファックスドライバを設定します。登録してあるドライバが表示されますので、使用するドライバを選択してください。
- [**印刷時のガイダンス設定**]..... 取り込んだ原稿を印刷する場合に、印刷用紙を挿入するように促すダイアログを表示するかどうかを設定します。
- [**アプリケーションの登録**]..... 取り込んだ原稿をファイルとして保存した場合に、編集するアプリケーションソフトを登録します。

原稿をコピーするには

MD-1500スキャナにセットした原稿を取り込んで、プリンタに出力(コピー)する手順を説明します。



注意

取り込んだデータは印刷終了後保存されません。保存する場合は、「取り込んだ原稿をファイルとして保存するには」を参照してください。

Step 1 原稿をセットする

コピーする原稿を原稿ホルダにセットし、MD-1500にセットします。セットの方法は、1章の「スキャナへの原稿のセット方法」を参照してください。

Step 2 CopyStudioを起動する

起動方法については、1章の「CopyStudioとScanner Driverの準備」を参照してください。また「環境設定」ボタンをクリックして、出力先のプリンタがMD-1500に設定されているかをご確認ください。

Step 3 原稿の種類を選択する

[CopyStudio]ダイアログの「取り込み原稿の選択」で選択すると、原稿に合った適切な取り込みモードが設定されます。

それぞれの設定については、本章の「[CopyStudio]ダイアログ各部の機能 [取り込み原稿の選択]」の節を参照してください。



Step 4 [プリンタ出力]ボタンをクリックする

Step 5 [コピー]ボタンをクリックする

[印刷設定]ダイアログが表示されます。



Step 6 コピー(印刷)に関する設定をする



▼ 表示された[印刷設定]ダイアログで印刷位置、部数などを設定する

▼ 必要に応じて[オプション]ボタンをクリックして印刷用紙の種類などを設定する

[ALPS MD-1500]ダイアログが表示されます。

詳細は、「MD1500ユーザーズマニュアル」を参照してください。



▼ [ALPS MD-1500]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする

[印刷設定]ダイアログに戻ります。

Step 7へ進みます。

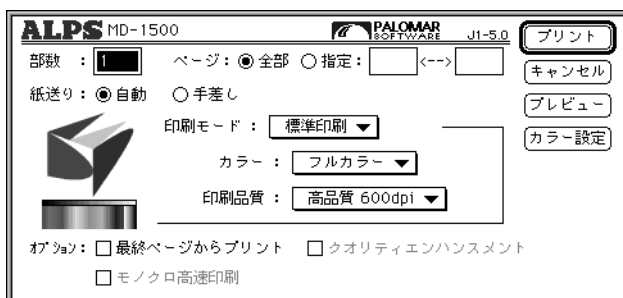


Macintoshの場合は次の手順で行います。

- ▼ 表示されたダイアログで印刷位置を設定する
- ▼ [用紙設定] ボタンをクリックして印刷する用紙のサイズや印刷方向を設定する



- ▼ [用紙設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックする
[印刷設定] ダイアログに戻ります。
- ▼ [印刷設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックする
次の [印刷] ダイアログが表示されます。



- ▼ 印刷部数や印字品質の設定を行う
詳細は、「MD-1500ユーザーズマニュアル」を参照してください。

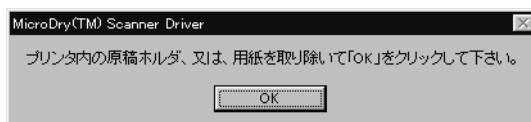
Step 7 原稿の取り込みを開始する



[印刷設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

原稿の取り込みが開始されます。

取り込みが終了すると、原稿ホルダが排出され、次のダイアログが表示されます。ここでは [OK] ボタンをクリックせず、次のStep 8に進みます。

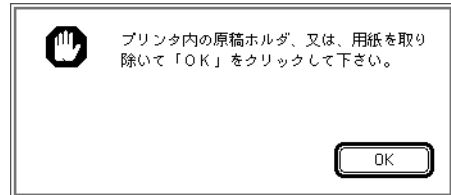




Macintosh版の場合は、[印刷]ダイアログの[プリント]ボタンをクリックします。

原稿の取り込みが開始されます。

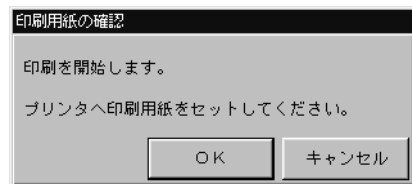
取り込みが終了すると、原稿ホルダが排出され、次のダイアログが表示されます。ここでは[OK]ボタンをクリックせず、次のStepに進みます。



Step 8 給紙トレイから原稿ホルダを取り外す

Step 9 Step 7で表示されたダイアログの[OK]ボタンをクリックする

[印刷用紙の確認]ダイアログが表示されます。ここでは[OK]ボタンをクリックせず、次のStepに進みます。



Step10 印刷用紙をMD-1500にセットする

自動給紙で印刷するときは、MD-1500プリンタの給紙切替レバーを[A]に切り換え、用紙トレイに用紙をセットします。手差し印刷の場合は[M]にセットされている状態のままで用紙トレイに用紙を1枚セットし、*ready/insert*ボタンを押します。

Step11 コピーを開始する

[印刷用紙の確認]ダイアログの[OK]ボタンをクリックします。印刷が開始されます。



注意

次の場合、取り込みサイズと印刷サイズが異なります。

1. [CopyStudio]の[印刷設定]ダイアログで、[用紙サイズに合わせる]をチェックした場合
2. [Scanner Driver]の[画像サイズ]を変更した場合



参考

原稿の一部の範囲をコピーする場合は、次の節をご覧ください。

原稿の一部をコピーするには

MD-1500にセットした原稿を取り込み、その原稿の一部をコピーする手順について説明します。

原稿の一部をコピーするには、CopyStudioの[応用コピー] ボタンをクリックして行いますが、このボタンをクリックすると [印刷設定] ダイアログが表示されたあとに [Scanner Driver] ダイアログが表示され、印刷範囲の設定のほか、取り込んだ原稿の画質などの調整も行えます。



注意

取り込んだデータは印刷終了後保存されません。保存する場合は、「取り込んだ原稿をファイルとして保存するには」を参照してください。

Step 1 原稿をセットする

コピーする原稿を原稿ホルダにセットし、MD-1500にセットします。
セットの方法は1章の「スキャナへの原稿のセット方法」を参照してください。

Step 2 CopyStudioを起動する

起動方法については、1章の「CopyStudioとScanner Driverの準備」を参照してください。また、[環境設定] ボタンをクリックして、出力先のプリンタがMD-1500に設定されているかをご確認ください。

Step 3 原稿の種類を選択する

[CopyStudio] ダイアログの [取り込み原稿の選択] で選択すると、原稿に合った適切な取り込みモードが設定されます。

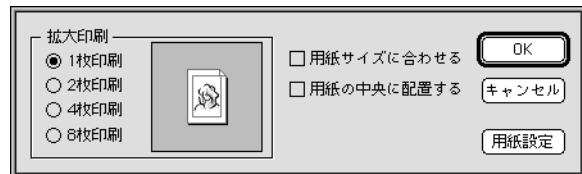
それぞれの設定については、本章の [CopyStudio] ダイアログ各部の機能 [取り込み原稿の選択] の節を参照してください。



Step 4 [プリント出力] ボタンをクリックする

Step 5 [応用コピー] ボタンをクリックする

[印刷設定] ダイアログが表示されます。なお、表示されるダイアログのオプションについては、次のようにWindows版とMacintosh版では異なります。



Step 6 コピー(印刷)に関する設定をする



- ▼ 表示された [印刷設定] ダイアログで印刷位置、部数などを設定する
- ▼ 必要に応じて [オプション] ボタンをクリックして印刷用紙の種類などを設定する

[ALPS MD-1500] ダイアログが表示されます。

詳細は、「MD-1500ユーザーズマニュアル」を参照してください。



- ▼ [ALPS MD-1500]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする
[印刷設定]ダイアログに戻ります。
Step 7へ進みます。

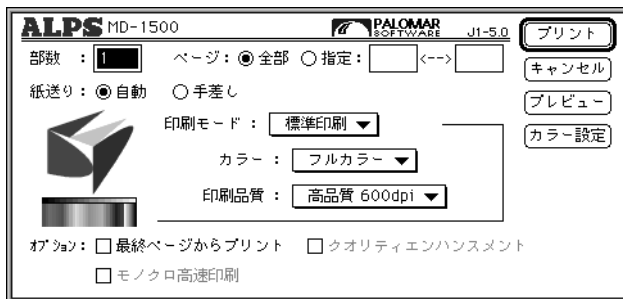


Macintoshの場合は次の手順で行います。

- ▼ 表示された[印刷設定]ダイアログで印刷位置を設定する
- ▼ [用紙設定]ボタンをクリックして印刷する用紙のサイズや印刷方向を設定する



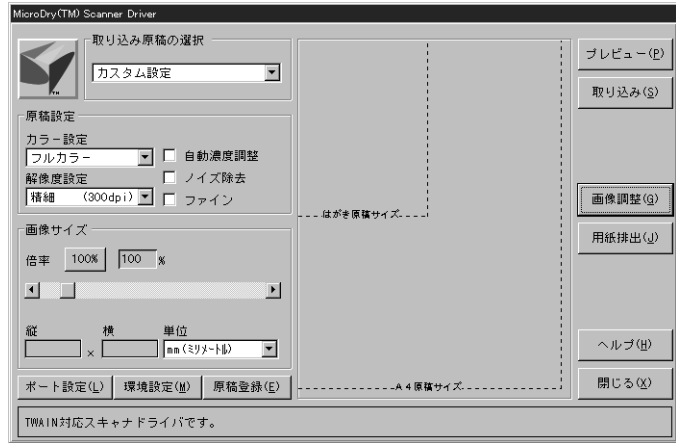
- ▼ [用紙設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする
[印刷設定]ダイアログに戻ります。
- ▼ [印刷設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする
次のダイアログが表示されます。



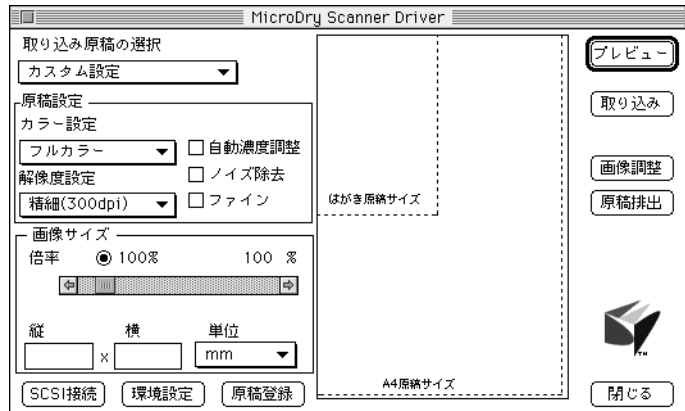
- ▼ 印刷部数や印字品質の設定を行う
詳細は、「MD-1500ユーザーズマニュアル」を参照してください。

Step 7 [Scanner Driver]ダイアログを表示する

[印刷設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックします。



Macintosh版の場合は、[印刷設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックして表示される[印刷]ダイアログの[プリント]ボタンをクリックします。



Step 8 取り込み原稿の範囲を設定する

▼ [プレビュー] ボタンをクリックする


元になる原稿のスキャンが開始され、終了すると原稿のイメージがダイアログに表示されます。



取り込み範囲


プレビュー画面上に表示されている四角の枠が取り込み範囲になります。

▼ 取り込み範囲を示す四角の枠の大きさを調整する

マウスポインタを四角の枠上に移動し、 に変わったらドラッグして大きさを調整します。



▼ 枠の位置を調整する

マウスポインタを四角の枠内に移動し、 に変わったらドラッグして枠位置を調整します。



Step 9 [取り込み] ボタンをクリックし、範囲指定した原稿の取り込みを開始する

原稿の取り込みが開始されます。

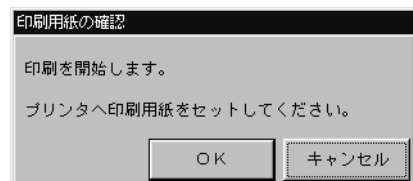
取り込みが終了すると、原稿ホルダが排出され、次のダイアログが表示されます。ここでは [OK] ボタンをクリックせず、次のStepに進みます。



Step10 給紙トレイから原稿ホルダを取り外す

Step11 Step 9で表示されたダイアログの [OK] ボタンをクリックする

[印刷用紙の確認] ダイアログが表示されます。



Step12 印刷用紙をMD-1500にセットする

自動給紙で印刷するときは、MD-1500プリンタの給紙切換レバーを[A]に切り換え、用紙トレイに用紙をセットします。手差し印刷の場合は[M]にセットされている状態のままで用紙トレイに用紙を1枚セットし、*ready/insert*ボタンを押します。

Step13 コピーを開始する

[印刷用紙の確認]ダイアログの[OK]ボタンをクリックします。印刷が開始されます。

**注意**

次の場合、取り込みサイズと印刷サイズが異なります。

1. [CopyStudio]の[印刷設定]ダイアログで、[用紙サイズに合わせる]をチェックした場合
2. [Scanner Driver]の[画像サイズ]を変更した場合

**参考**

[応用コピー]ボタンをクリックして[印刷設定]ダイアログのあとに表示される[Scanner Driver]ダイアログでは、印刷範囲の設定のほかに取り込んだ原稿の画質などの調整も行えます。

詳細は、「第3章 Scanner Driverの使い方」を参照してください。

原稿をファックス送信するには

MD-1500スキャナにセットした原稿を取り込んで、ファックス送信する手順を説明します。



注意

取り込んだデータはファックス送信後保存されません。保存する場合は、「取り込んだ原稿をファイルとして保存するには」を参照してください。

Step 1 原稿をセットする

コピーする原稿を原稿ホルダにセットし、MD-1500スキャナにセットします。

セットの方法は、1章の「スキャナへの原稿のセット方法」を参照してください。

Step 2 CopyStudioを起動する

起動方法については、1章の「CopyStudioとScanner Driverの準備」を参照してください。また「環境設定」ボタンをクリックして、ファックスドライバが設定されているかご確認ください。

Step 3 原稿の種類を選択する

[CopyStudio] ダイアログの [取り込み原稿の選択] で選択します。ファックス送信の場合は、[白黒画像(FAX...)] を選択します。

それぞれの設定については、本章の [CopyStudio] ダイアログ各部の機能 [取り込み原稿の選択] の節を参照してください。



Step 4 [ファックス送信] ボタンをクリックする

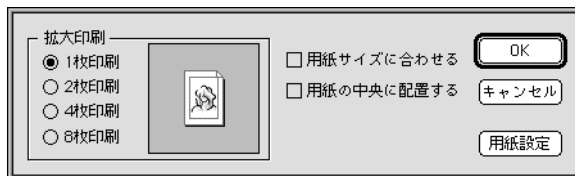
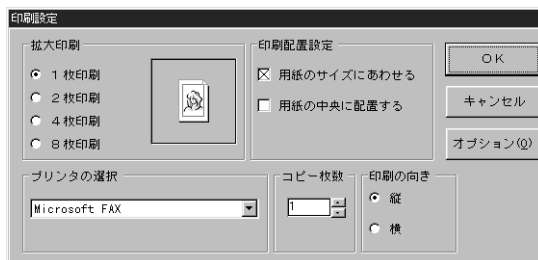


参考

取り込み原稿が文字原稿の場合は、[白黒文書(OCR...)] を選択することをおすすめします。

Step 5 [コピー] ボタンをクリックする

[印刷設定] ダイアログが表示されます。



Step 6 ファックス送信に関する設定をする



表示された [印刷設定] ダイアログで登録されているファックスドライバの確認を行います。



Macintosh版の場合は、[印刷設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックして表示されるファックスドライバの画面でファックス送信に関する設定を行います。



注意

- ファックスドライバの起動画面、および操作方法は、登録したファックスドライバにより異なります。詳細は、お使いのファックスドライバのマニュアルなどを参照してください。
- ファックス送信時は200dpiの解像度に変換されるため、画像が一部つぶれたりする場合があります。

ファックスドライバの登録方法については、本章の「[CopyStudio] ダイアログ各部の機能 [環境設定] ボタン」の節を参照してください。

Step 7 原稿の取り込みを開始する

[印刷設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックします。

原稿の取り込みが開始されます。

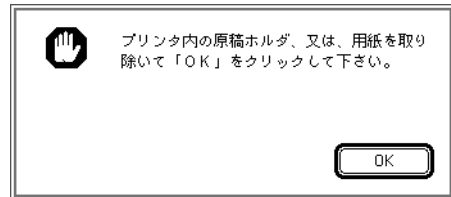
取り込みが終了すると、原稿ホルダが排出され、次のダイアログが表示されます。ここでは[OK]ボタンをクリックせず、次のStepに進みます。



Macintosh版の場合はファックスドライバ画面の[送信]ボタンをクリックします。

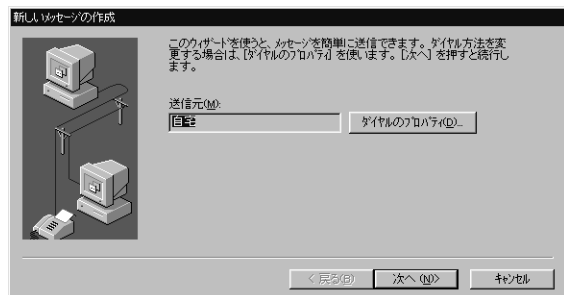
原稿の取り込みが開始されます。

取り込みが終了すると、原稿ホルダが排出され、次のダイアログが表示されます。ここでは[OK]ボタンをクリックせず、次のStepに進みます。

**Step 8** 給紙トレイから原稿ホルダを取り外す**Step 9** ファックス送信を開始する

▼ Step 7で表示されたダイアログの[OK]ボタンをクリックする

▼ ファックスドライバが起動されるので、画面のメッセージに従ってファックスを送信する



Windows 95 Microsoft FAXの画面例



ファックス送信が開始されます。

**注意**

- ファックスドライバの起動画面、および操作方法は、登録したファックスドライバにより異なります。詳細は、お使いのファックスドライバのマニュアルなどを参照してください。
- 次の場合、取り込みサイズと印刷サイズが異なります。
 1. [CopyStudio]の[印刷設定]ダイアログで、[用紙サイズに合わせる]をチェックした場合
 2. [Scanner Driver]の[画像サイズ]を変更した場合

**参考**

原稿の一部の範囲をファックスする場合は、原稿の一部をコピーするのと同じ要領でCopyStudioの[応用コピー]ボタンをクリックして[印刷設定]ダイアログの次に表示される[Scanner Driver]ダイアログで範囲を設定します。詳細は、前の節を参照してください。

取り込んだ原稿をファイルとして保存するには

MD-1500にセットした原稿を取り込んで、ファイルとして保存する手順を説明します。

Step 1 原稿をセットする

コピーする原稿を原稿ホルダにセットし、MD-1500スキャナにセットします。

セットの方法は、1章の「スキャナへの原稿のセット方法」を参照してください。

Step 2 CopyStudioを起動する

起動方法については、1章の「CopyStudioとScanner Driverの準備」を参照してください。また、[環境設定]ボタンをクリックして、ファイルの保存先フォルダの設定を確認してください。

Step 3 原稿の種類を選択する

[CopyStudio]ダイアログの[取り込み原稿の選択]で選択します。選択した原稿の種類によって、原稿に合った適切な取り込みモードが設定されます。

それぞれの設定については、本章の「[CopyStudio]ダイアログ各部の機能 [取り込み原稿の選択]」を参照してください。



Step 4 [ファイル保存]ボタンをクリックする

Step 5 [コピー] ボタンをクリックする

原稿の取り込みが開始され、[ファイル名を付けて保存]ダイアログが表示されます。



Step 6 ファイルとして保存する



- ▼ 保存ファイル形式を[ファイルの種類]から選択する
保存するファイルの種類の詳細については、本章の「[CopyStudio] ダイアログ各部の機能 [ファイル名を付けて保存] ダイアログについて」の節を参照してください。
- ▼ ファイル名を入力する
[ファイル名]に入力されている*(アスタリスクマーク)を削除して代わりにファイル名を入力します。
- ▼ 保存先フォルダの確認を行う
- ▼ [OK] ボタンをクリックして、原稿の取り込みを開始し、ファイルに保存する
取り込みが終了すると、原稿ホルダが排出され、次のダイアログが表示されます。ここでは[OK] ボタンをクリックせず、Step 7に進みます。





Macintosh版の場合は、次の手順で保存します。

▼ 保存先フォルダの確認もしくは選択を行う

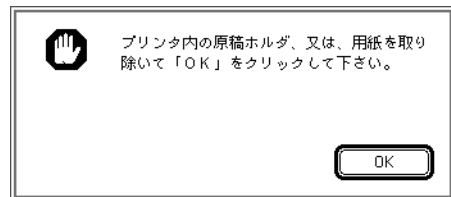
▼ ファイル名を入力する

▼ 保存ファイル形式を[ファイル形式]から選択する

保存ファイル形式の詳細については、本章の「[CopyStudio]ダイアログ各部の機能[ファイル名を付けて保存]ダイアログについて」の節を参照してください。

▼ [保存...]ボタンをクリックして保存を実行し、原稿の取り込みを再開する

取り込みが終了すると、原稿ホルダが排出され、次のダイアログが表示されます。ここでは[OK]ボタンをクリックせず、次のSTEPに進みます。



Step 7 給紙トレイから原稿ホルダを取り外す

Step 8 Step 6で表示されたダイアログの[OK]ボタンをクリックする

これでファイル保存の一連の操作が終了します。

一旦、保存したファイルを、印刷、ファックス送信、編集する手順は次の節で説明します。



参考

原稿の一部の範囲をファイル保存する場合は、原稿の一部をコピーするのと同じ要領でCopyStudioの[応用コピー]ボタンをクリックして[印刷設定]ダイアログの次に表示される[Scanner Driver]ダイアログで範囲を設定します。

詳細は、本章の「CopyStudioの使い方 原稿の一部をコピーするには」の節を参照してください。

保存したファイルを活用するには

前の節で保存したファイルをCopyStudioを使用して活用する方法を説明します。

保存したファイルを印刷する

CopyStudioで保存したファイルを印刷する手順を説明します。

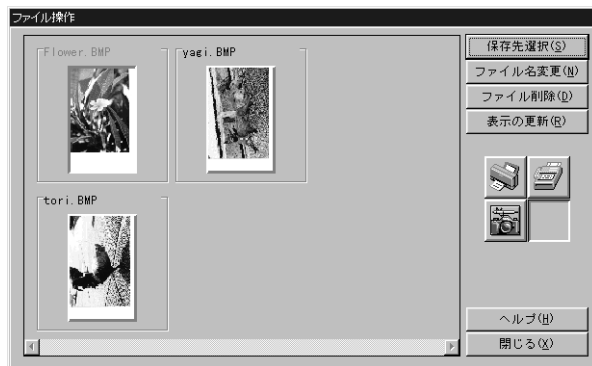
Step 1 CopyStudioを起動する

起動方法については、1章の「CopyStudioとScanner Driverの準備」を参照してください。



Step 2 [ファイル操作] ボタンをクリックする

次のダイアログが表示されます。このダイアログで既に保存されている画像データの操作を行います。



[環境設定] ダイアログで保存先に指定したディレクトリ内の画像データが、サムネール(アイコン)として表示されます。

必要に応じて[保存先選択] ボタン、[表示の更新] ボタンをクリックして目的の画像データを表示します。

詳細は、本章の「[CopyStudio] ダイアログ各部の機能 [ファイル操作] ボタン」を参照してください。

Step 3 印刷するファイルを選択する

印刷したいファイルのサムネールをクリックして選択します。

Step 4 印刷を実行する

▼ [ファイル操作]ダイアログの[プリンタ]ボタン()をクリックする

次の[印刷設定]ダイアログが表示されます。



▼ 印刷位置や部数を設定する

▼ 必要に応じて[オプション]ボタンをクリックして印刷用紙の種類などを設定する

[ALPS MD-1500]ダイアログが表示されます。

詳細は、「MD-1500ユーザーズマニュアル」を参照してください。



▼ [ALPS MD-1500]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする

▼ [印刷設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする

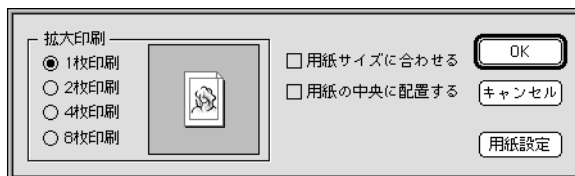
印刷が開始されます。



Macintosh版の場合は以下の手順で行います。

- ▼ [ファイル操作]ダイアログの[プリンタ]ボタン()をクリックする

次の[印刷設定]ダイアログが表示されます。

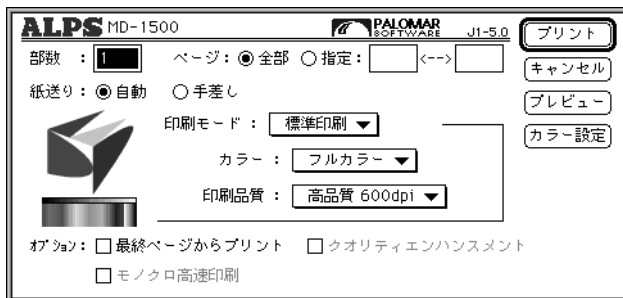


- ▼ 表示されたダイアログで印刷位置を設定する
- ▼ [用紙設定]ボタンをクリックして用紙のサイズや印刷方向を設定する



- ▼ [用紙設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする
[印刷設定]ダイアログに戻ります。

- ▼ [印刷設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする
次の[印刷]ダイアログが表示されます。



- ▼ 印刷部数や印字品質の設定を行う
詳細は、「MD-1500 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

- ▼ [印刷]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする
印刷が開始されます。

保存したファイルをファックス送信する

CopyStudioで保存したファイルをファックス送信する手順を説明します。

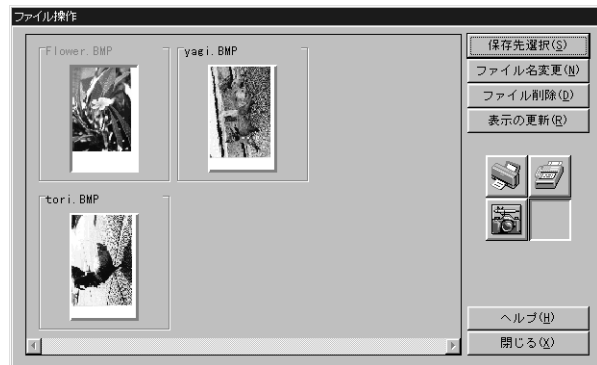
Step 1 CopyStudioを起動する

起動方法については、1章の「CopyStudioとScanner Driverの準備」を参照してください。



Step 2 [ファイル操作] ボタンをクリックする

次のダイアログが表示されます。このダイアログで既に保存されている画像データの操作を行います。



[環境設定]ダイアログで保存先に指定したディレクトリ内の画像データがサムネール(アイコン)として表示されます。


必要に応じて [保存先選択] ボタン、[表示の更新] ボタンをクリックして目的の画像データを表示します。

詳細は、本章の「[CopyStudio]ダイアログ各部の機能[ファイル操作]」の節を参照してください。

Step 3 ファックス送信するファイルを選択する

ファックス送信したいファイルのサムネールをクリックして選択します。

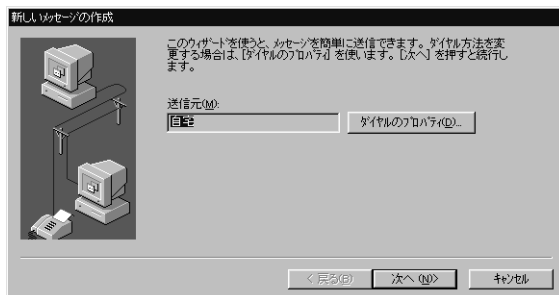
Step 4 ファックス送信を開始する

- ▼ [ファイル操作] ダイアログの [ファックス送信] ボタン  をクリックする

次の [印刷設定] ダイアログが表示されます。




- ▼ ファックスドライバの確認をする
[環境設定] ダイアログに登録したファックスドライバが設定されています。
- ▼ [印刷設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックする
- ▼ ファックスドライバが起動されるので、画面のメッセージに従ってファックスを送信する



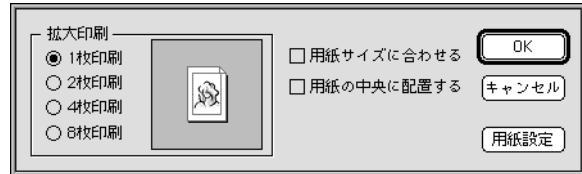
Windows 95 Microsoft FAXの画面例



Macintosh版の場合は以下の手順で行います。

- ▼ [ファイル操作]ダイアログの[ファックスへ]ボタン()をクリックする

次のダイアログが表示されます。



- ▼ [印刷設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする
- ▼ ファックスドライバが起動されるので、画面のメッセージにしたがってファックスを送信する

保存したファイルを登録したアプリケーションで読み込む

CopyStudioで保存したファイルを、登録したアプリケーション、ここではMD-1500に添付の「PhotoAssistant」で読み込む手順を説明します。

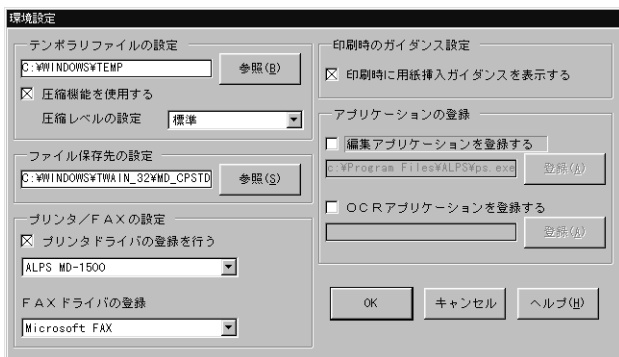
Step 1 CopyStudioを起動する

起動方法については、1章の「CopyStudioとScanner Driverの準備」を参照してください。



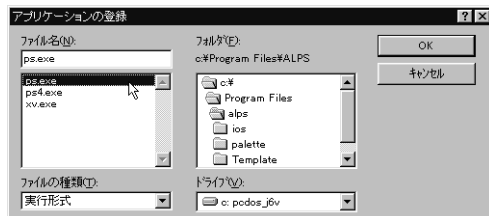
Step 2 アプリケーションを登録していない場合は登録する

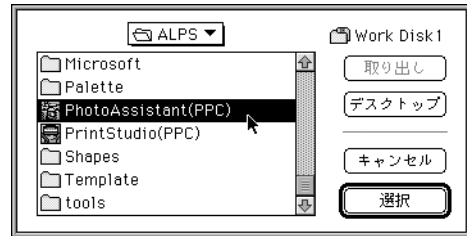
▼ [CopyStudio]ダイアログの「環境設定」ボタンをクリックする



▼ [編集アプリケーションを登録する]にチェックを付ける

▼ [登録]ボタンをクリックして登録したい画像編集アプリケーションの実行ファイルを設定する



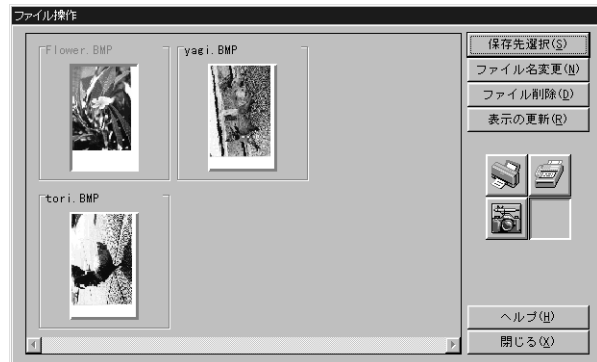


▼ [アプリケーションの登録]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする

▼ [環境設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックする

Step 3 [ファイル操作]ボタンをクリックする

次のダイアログが表示されます。このダイアログで既に保存されている画像データの操作を行います。



[環境設定]ダイアログで保存先に指定したディレクトリ内の画像データがサムネール(アイコン)として表示されます。

必要に応じて[保存先選択]ボタン、[表示の更新]ボタンをクリックして目的の画像データを表示します。

詳細は、本章の「[CopyStudio]ダイアログ各部の機能[ファイル操作]ボタン」を参照してください。

Step 4 編集するファイルを選択する

編集したいファイルのサムネールをクリックして選択します。

Step 5 ファイルを読み込む

[ファイル操作]ダイアログの編集アプリケーションのアイコンをクリックします。

アプリケーションソフトが起動し、ファイルが読み込まれます。

**参考**

- 同様にしてOCRアプリケーションを登録し、取り込んだ文書をテキスト変換することもできます。なお、OCRアプリケーションは本パッケージには含まれておりませんので、別途購入する必要があります。
- PhotoAssistantの操作方法については、同ソフトウェアのオンラインマニュアルを参照してください。

ポスターを作成するには

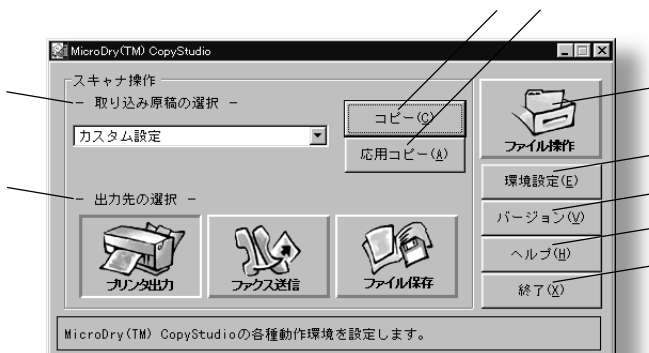
MD-1500スキャナから読み込んだ原稿を拡大して、複数の用紙に分けて印刷することができます。それによって、簡易ポスターを作成することもできます。

ポスターを作成するには、CopyStudioからMD-1500プリンタに出力する場合に表示される[印刷設定]ダイアログの[拡大印刷]から印刷枚数を選択して行います。



[拡大印刷]で印刷枚数を設定すると、[用紙サイズに合わせる]チェックボックスが自動的にONになり、拡大率が自動的に設定されます。また、拡大印刷を設定した場合、拡大された画像は印刷用紙の印刷可能範囲の左上から印刷されます。用紙の中央に印刷したいときには、[印刷配置設定]で[用紙の中央に配置する]を選択してください。

[CopyStudio]ダイアログ各部の機能



[取り込み原稿の選択].. 選択した原稿の種類に応じて、CopyStudioと連携して動作する Scanner Driver側で、原稿の取り込み方法が調整されます。

•[カスタム設定]

原稿(たとえば[カラー写真])を選択して、Scanner Driver側で取り込み設定などのオプションを選択した場合は、[カラー写真]ではなくこの[カスタム設定]が自動的に設定されます。インストール直後は、この[カスタム設定]が選択されています。

•[カラー写真]

カラー写真を取り込む場合に選択します。
24bitフルカラー1677万色で取り込みます。

•[カラー印刷物]

色数の多いイラストや印刷物を取り込む場合に選択します。
24bitフルカラー1677万色で取り込み、原稿を取り込む際に発生するモアレ(干渉縞)を低減する[ノイズ除去]機能がONになります。

•[グラフィックス(256色)]

色数の少ないイラストや印刷物を取り込む場合に選択します。
8bitカラー256色で取り込みます。
減色方法はScanner Driver側で設定を変更することができます。詳細は3章の「Scanner Driverの機能[環境設定]」の節を参照してください。

•[白黒写真]

写真をモノクロのグレースケールで取り込む場合に選択します。
8bitモノクロ256階調で取り込みます。

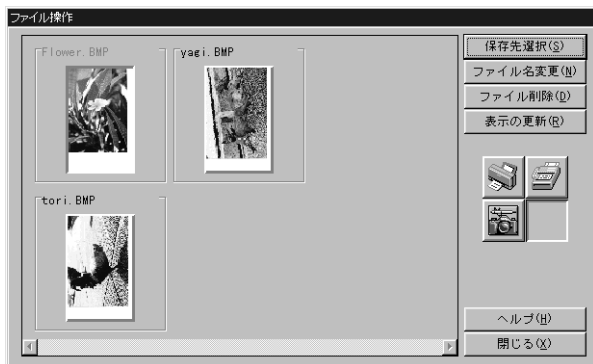
- [白黒印刷物]
印刷物をモノクロのグレースケールで取り込む場合に選択します。
8bitモノクロ256階調で取り込み、原稿を取り込む際に発生するモアレ(干渉縞)を低減する[ノイズ除去]機能がONになります。
- [白黒文書(OCR...)]
原稿を文書(テキスト)として変換する場合に選択します。
1bitモノクロ2階調で取り込み、テキスト変換が容易に行えるように、専用のOCRフィルタがOCRに最適な濃度調整を行います。
- [白黒画像(FAX...)]
原稿をファックス送信する場合に選択します。
8bitモノクロ256階調で取り込み、原稿を取り込む際に発生するモアレ(干渉縞)を低減する[ノイズ除去]機能がONになります。

ユーザ定義 1 ~ 5

Scanner Driver側でユーザが登録した独自の設定を選択します。ユーザ定義の登録は、Scanner Driver側で行います。最大5個まで可能です。登録方法は、3章の「Scanner Driverの機能 [原稿登録] ボタン」の節を参照してください。

- [出力先の選択] { プリンタ出力 } ボタン
取り込んだ原稿の出力先をプリンタに指定する場合にクリックして選択します。
- [ファックス送信] ボタン
取り込んだ原稿をファックスとして送信する場合にクリックして選択します。
 - [ファイル保存] ボタン
取り込んだ原稿をファイルとして保存する場合にクリックして選択します。
- [コピー ボタン] MD-1500スキャナにセットした原稿を、[取り込み原稿の選択] での設定に従ってコピー、ファックス送信、ファイルとして保存する場合にクリックします。
- [応用コピー ボタン] このボタンをクリックすると、[Scanner Driver]ダイアログが表示されます。[Scanner Driver]ダイアログでは、印刷範囲の設定や取り込み原稿の画質の調整が行えます。
[Scanner Driver]ダイアログの操作方法は、「第3章 Scanner Driverの使い方」を参照してください。

[ファイル操作]ボタン.. 保存されている画像ファイルをMD-1500プリンタに出力したり、ファックス送信したり、編集する場合にクリックします。



[サムネール表示エリア]

[環境設定]ダイアログで保存先に設定してあるダイアログ内の画像ファイルが、作成日時順に左上から順に表示されます。このダイアログで操作できる画像ファイル形式は、BMP、PICT、JPEG、TIFF(非圧縮)形式です。

なお、PhotoDelux、PhotoShopのファイル形式は、ファイル読み取り機能のみ有効です。CopyStudioから直接印刷、ファックス送信はできません。

サムネール表示の更新は、次のタイミングで実行されます。

- CopyStudioで読み込んだ原稿を保存した時
- 本ダイアログの[表示の更新]ボタンをクリックした時
- 本ダイアログの[ファイル名変更]ボタンをクリックした時
- 本ダイアログの[ファイル削除]ボタンをクリックした時

そのため、CopyStudio以外のアプリケーションで作成された(取り込まれた)画像ファイルについては、[表示の更新]ボタンをクリックしないとサムネールが表示されません。

[保存先選択]ボタン

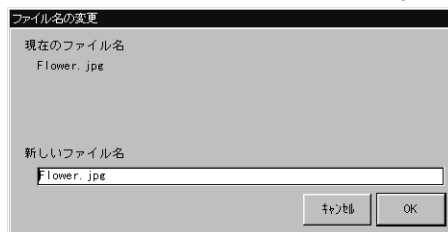
ファイルの保存先を設定するボタンです。このボタンをクリックすると、[保存先選択]ダイアログが表示され、画像ファイルのあるフォルダの指定を変更することができます。この指定は一時的なもので、1度ダイアログを閉じると環境設定で指定された保存先に戻ります。



[ファイル名変更]ボタン

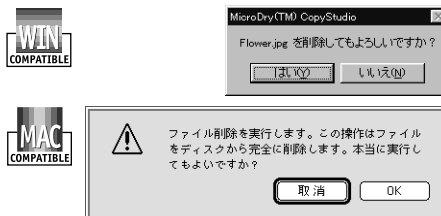
選択したファイルのファイル名を変更するボタンです。このボタンをクリックすると、[ファイル名の変更]ダイアログが表示されます。[新しいファイル名]にファイル名を入力して[OK]ボタンをクリックするとファイル名が変更されます。

なお、保存ファイル形式を変更することはできません。



[ファイル削除]ボタン

選択したファイルを削除するボタンです。このボタンをクリックすると、指定したファイルを削除していいかどうかのメッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックすると削除が実行されます。



注意

[ファイル削除]を実行すると、ファイルが[ゴミ箱]に移動するのではなく、完全に削除されます。

[表示の更新]ボタン

サムネールの表示を更新するボタンです。このボタンをクリックすると、[保存先選択]で設定されているフォルダ内の画像ファイルのサムネール情報を更新します。

[プリンタ出力]ボタン

選択したファイルをプリンタに出力するボタンです。このボタンをクリックすると、[印刷設定]ダイアログが表示されます。

[ファックス送信]ボタン

選択したファイルをファックス送信するボタンです。このボタンをクリックすると、[印刷設定]ダイアログが表示されます。

[編集アプリケーション]ボタン

選択したファイルを、[環境設定]ダイアログで登録した編集アプリケーションで読み込むボタンです。このボタンをクリックすると、登録したアプリケーションが起動し、指定したファイルが読み込まれます。

なお、編集アプリケーションが登録されていないと、このボタンは表示されません。
編集アプリケーションの登録については、次の節を参照してください。

[OCRアプリケーション] ボタン

選択したファイルを、[環境設定] ダイアログで登録したOCRアプリケーションで読み込むボタンです。OCRアプリケーションとは、画像ファイルとして取り込んだ文字を、テキストデータに変換するアプリケーションです。このボタンをクリックすると、登録したアプリケーションが起動し、指定したファイルが読み込まれます。

なお、OCRアプリケーションが登録されていないと、このボタンは表示されません。また、OCRアプリケーションは別途購入する必要があります。

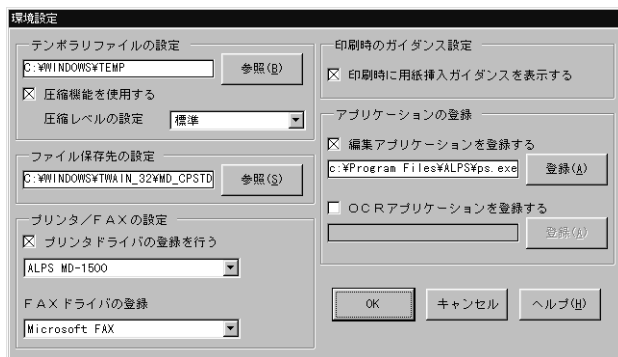
OCRアプリケーションの登録については、次の節を参照してください。



参考

複数のサムネールを選択するには、[Shift] 押しながらサムネールをクリックします。

[環境設定] ボタン [CopyStudio] ダイアログの [環境設定] ボタンをクリックすると、[環境設定] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、CopyStudioの操作環境、具体的には、テンポラリファイルに関する設定、ファイル保存先の設定、プリンタ / ファックスの設定、印刷時のガイダンスの表示 / 非表示の設定、編集 / OCRアプリケーションの登録を行います。



[テンポラリファイルの設定]

CopyStudioで作業中に、取り込んだ画像を一時的に保管しておく場所を設定します。取り込む画像がフルカラーであったり、大きなサイズである場合、画像の容量が大きくなります。そこで、CopyStudioがテンポラリファイルを活用してメモリの不足分を補います。

通常は指定しなおす必要はありませんが、テンポラリファイルの容量が大きくなる場合も考慮して、十分な空き容量があるハードディスクを設定します。なお、必要な空き容量は、付録「MD-1500スキャナQ&A」の「ファイルの大きさの目安」を参照してください。

指定しなおす場合は、[参照]ボタンをクリックして表示される[テンポラリファイル保存先]ダイアログで、保存先フォルダを選択して[OK]ボタン(Macintoshでは[選択]ボタン)をクリックすると設定できます。



[圧縮機能を使用する]チェックボックス

作成されるテンポラリファイルを圧縮して、ファイル容量を削減する機能です。

このチェックボックスをチェックすると、テンポラリファイルを高画質、標準画質、低画質のいずれかで圧縮することができます。

[ファイル保存先の設定]

[CopyStudio]ダイアログの[ファイル保存]ボタンをクリックしてファイルに保存する時に、最初に参照するフォルダを指定します。

指定しなおす場合は、[参照]ボタンをクリックして表示される[ファイル保存先の設定]ダイアログで、保存先フォルダを選択して[OK]ボタン(Macintoshでは[選択]ボタン)をクリックすると設定できます。



[プリンタ/ファックスの設定]



取り込んだ原稿をCopyStudioから出力する時のプリンタドライバとファックスドライバを設定します。

・プリンタドライバの登録

取り込んだ原稿をCopyStudioから出力する時のプリンタドライバを登録します。ここで登録しなければ、Windowsのコントロールパネルに登録されているプリンタから出力されます。



Macintosh版の場合は、取り込んだ原稿をCopyStudioから出力する時のプリンタドライバを登録します。ここで登録しなければ、セレクトで選択されているプリンタから出力されます。

設定を行うには、[プリンタドライバの登録を行う]チェックボックスをチェックして、プルダウンメニューからプリンタドライバを選択します。

- ファックスドライバの登録

取り込んだ原稿をCopyStudioからファックス送信する時のファックスドライバを登録します。

設定を行うには、プルダウンメニューからドライバを選択します。

[印刷時のガイダンス設定]

取り込んだ原稿を印刷する場合に、印刷用紙を挿入するように促すダイアログを表示するかどうかを設定します。

デフォルトではONになっています。

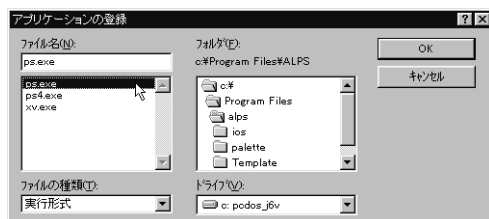
[アプリケーションの登録]

取り込んだ原稿をファイルとして保存した場合に、編集するアプリケーションソフトの起動ファイルを、フルパス(ドライブ名から始まるディレクトリ名)を指定して登録します。

- [編集アプリケーションを登録する]

編集アプリケーションを登録するには、最初に[編集アプリケーションを登録する]チェックボックスをチェックして[登録]ボタンをクリックします。

次に、表示される[アプリケーションの登録]ダイアログで画像編集アプリケーションの実行ファイル(Windowsの場合は拡張子がexe)を選択して[OK]ボタン(Macintoshの場合は[選択]ボタン)をクリックします。



- [OCRアプリケーションを登録する]

OCRアプリケーションとは、画像ファイルとして取り込んだ文字を、テキストに変換するアプリケーションです。

OCRアプリケーションを登録するには、最初に[OCRアプリケーションを登録する]チェックボックスをチェックして[登録]ボタンをクリックします。

次に、表示される[アプリケーションの登録]ダイアログでアプリケーションの実行ファイル(Windowsの場合は拡張子が

exe)を選択して[OK]ボタン(Macintosh場合は[選択]ボタン)をクリックします。

なお、OCRアプリケーションは別途購入する必要があります。



参考

ここに、OCRアプリケーション以外のアプリケーションを登録することもできます。

[バージョン]ボタン このボタンをクリックするとCopyStudioのバージョンを表示します。

[ヘルプ]ボタン CopyStudioに関するヘルプを表示します。



Macintosh版では、バルーンヘルプのみ表示が可能です。

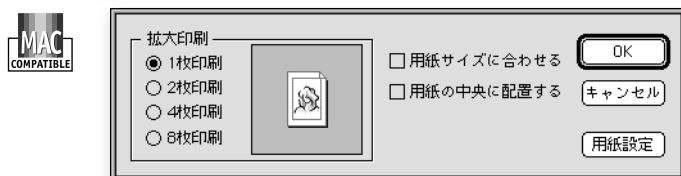
[終了]ボタン CopyStudioを終了します。

原稿ホルダが挿入されている場合は、原稿ホルダを用紙トレイに排出します。原稿排出後はMD-1500はオフライン状態となり画面上にメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、原稿を取り除いた後に[OK]ボタンをクリックします。



[印刷設定]ダイアログについて

取り込んだ原稿をコピー、ファックス送信する際に表示される[印刷設定]ダイアログの各部の機能について説明します。



[拡大印刷]..... 取り込んだ画像を自動的に拡大し、複数の印刷用紙に分けて印刷する場合に選択します。拡大率は印刷する用紙の枚数によって異なります。選んだ枚数のラジオボタンに従って印刷可能な最大の大きさに自動的に拡大して印刷します。複数枚への印刷を選択したときは、[印刷配置設定]の[用紙のサイズに合わせる]チェックボックスがONとなります。



参考

[1 枚印刷] を選択して、[用紙のサイズに合わせる]チェックボックスにチェックすると、選択されている印刷用紙の印刷可能領域の最大に拡大して印刷します。チェックされていない場合は、[Scanner Driver]の画像サイズの倍率で印刷されます。



[オプション] ボタン [プリンタの選択] で選択されているプリンタ、ファックスドライバの設定ダイアログを開きます。
各ドライバの設定方法については、それぞれのマニュアルもしくはヘルプを参照してください。



[用紙設定] ボタン プリンタまたはファックスドライバの [用紙設定] ダイアログを開きます。各ドライバの設定方法については、それぞれのマニュアルもしくはヘルプを参照してください。



[プリンタの選択] 出力するプリンタ、ファックスドライバを設定します。 [環境設定] ダイアログで登録したプリンタ、ファックスドライバが設定されています。
一時的に設定を変更する場合は、プルダウンメニューから選択して変更します。

[コピー枚数] 取り込んだ原稿や指定したファイルの出力部数を設定します。

[印刷の向き] 印刷用紙の縦 / 横の向きをラジオボタンをクリックして選択します。

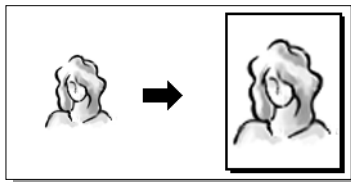


[コピー枚数] [印刷の向き] .. Macintosh版では、 [コピー枚数] [印刷の向き] はプリンタドライバ側で設定してください。

[印刷配置設定].....

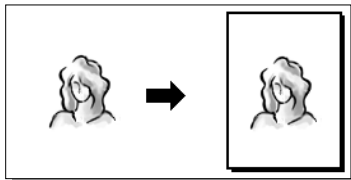
- 用紙のサイズにあわせる
- 用紙の中央に配置する

選択されている印刷用紙の印刷可能領域の最大に拡大(原稿の縦横の比率は変更しない)して、印刷用紙の中央に印刷します。



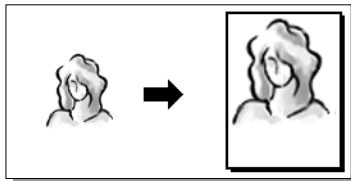
- 用紙のサイズにあわせる
- 用紙の中央に配置する

[Scanner Driver]の画像サイズの倍率で、印刷用紙の中央に印刷します。



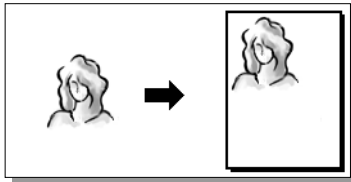
- 用紙のサイズにあわせる
- 用紙の中央に配置する

選択されている印刷用紙の印刷可能領域の最大に拡大(原稿の縦横の比率は変更しない)して、上寄せまたは左寄せで印刷します。



- 用紙のサイズにあわせる
- 用紙の中央に配置する

[Scanner Driver]の画像サイズの倍率で、印刷用紙左上に印刷します。



【ファイル名を付けて保存】ダイアログ(保存ファイル形式)について

取り込んだ原稿を保存する時に表示されるダイアログです。操作方法は、他のアプリケーションの保存ダイアログと同様です。ここでは、保存ファイル形式とその特徴について説明します。



【ファイルの種類】..... CopyStudioで保存できるファイル形式は次の通りです。

- BMP
Windowsの標準的な画像ファイル形式です。
フルカラー、256、グレースケール、白黒2色に対応。
- PICT
Macintoshの標準的な画像ファイル形式です。
フルカラー、256、グレースケール、白黒2色に対応。
- TIFF(非圧縮)
多くのグラフィックスソフトが対応している互換性の高いファイル形式です。Windows、Macintosh共通のファイル形式です。
フルカラー、256、グレースケール、白黒2色に対応。
- JPEG(高画質)
- JPEG(標準)
- JPEG(低画質)
高圧縮率を特徴とする画像ファイル形式です。インターネットのWebページ(ホームページ)に掲載される写真はこの形式で保存します。Windows、Macintosh共通のファイル形式です。
フルカラーで取り込む場合のみ選択可能です。

第3章

Scanner Driver の使い方

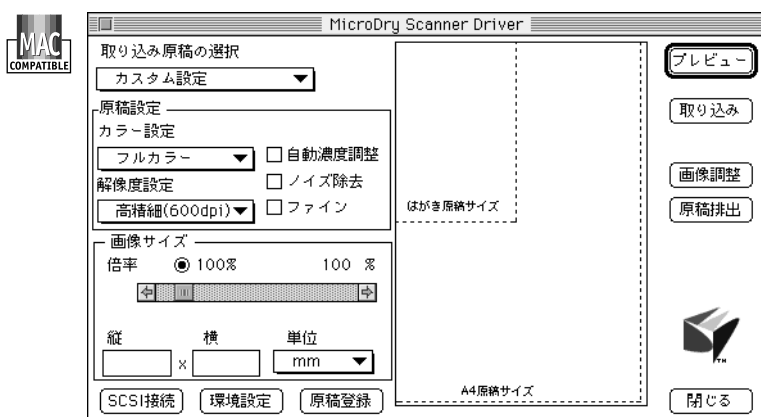
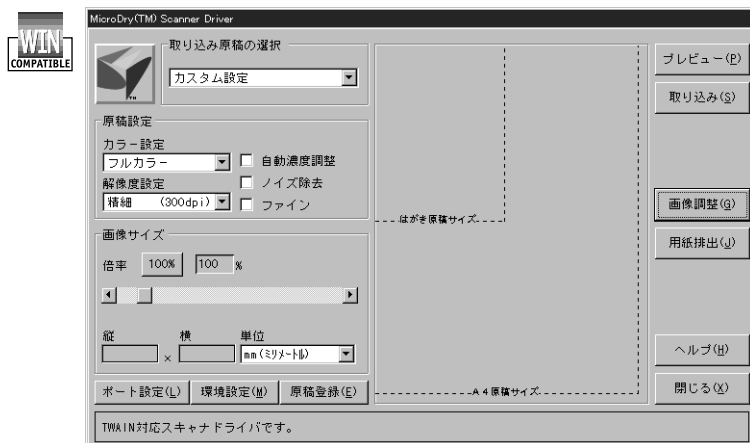
この章では、取り込む原稿の範囲や画質を調整するScanner Driverの機能を説明します。

Scanner Driverの呼び出し方

[CopyStudio]ダイアログからScanner Driverを呼び出して操作するには、[応用コピー]ボタンをクリックします。

ただし、[CopyStudio]ダイアログの[出力先の選択]で、[プリンタ出力] [ファックス送信]が選択されている場合は、はじめに[印刷設定]ダイアログが表示され、次に[Scanner Driver]ダイアログが表示されます。

[出力先の選択]で[ファイル保存]が選択されている場合は、[応用コピー]ボタンをクリックするとすぐに[Scanner Driver]ダイアログが表示されます。

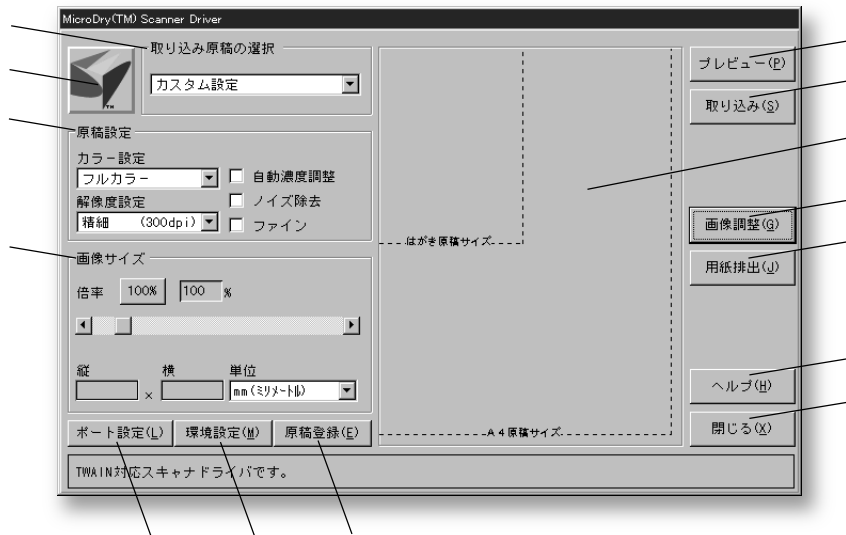


参考

Scanner Driverは、他のTWAIN対応のアプリケーションソフトからも呼び出すことができます。他のアプリケーションソフトから呼び出す方法については、「第4章 他のアプリケーションからの使い方」を参照してください。

Scanner Driverの機能

ここでは、[Scanner Driver]ダイアログの各部の機能について説明します。



[取り込み原稿の選択].. スキャナで取り込む原稿の種類を選択します。

CopyStudioとScanner Driverは連携しており、CopyStudioで設定した[取り込み原稿の選択]がそのまま設定されます。ただし、[Scanner Driver]ダイアログの[取り込み設定]の設定を変更した場合は、[カスタム設定]が自動的に選択されます。[取り込み原稿]のそれぞれの設定内容については、2章の「[CopyStudio]ダイアログ各部の機能[取り込み原稿の選択]」の節を参照してください。

[プレビュー]ボタン 取り込み原稿の範囲や画質を設定するために原稿を試し読みします。このボタンをクリックすると[プレビュー表示領域]にプレビュー画面が表示されます。プレビューは高速取り込みを行うため、乱れ、ムラが発生することがあります。



参考

- プレビュー直後は、原稿ホルダのガイドラインより約3mm内側が取り込み画像範囲になるように自動的に設定されています。
- 取り込み可能な画像の範囲は、プレビュー表示領域に枠で表示されます。取り込み範囲を変更するには、枠の角にマウスポインタを合わせ、そのままドラッグします。

[原稿設定] スキャナで取り込む原稿の画質を個別に設定する場合に設定します。

• カラー設定

取り込む原稿の種類により適した色数や表現方法を設定します。

フルカラー

カラー写真を取り込む場合に選択します。

24bitフルカラー1,677万色で取り込みます。

256カラー

色数の少ないイラストや印刷物を取り込む場合に選択します。

8bitカラー256色で取り込みます。

このモードは、フルカラー1,677万色取り込み内容を256色に減色していますので、カラー写真取り込みよりも多少処理時間がかかります。[環境設定]の[256カラー選択]で256色の減色方法を選択できます。

グレースケール

イラストや印刷物などを白黒で読み込む場合に選択します。

8bitモノクロ256階調で取り込みます。

白黒2色(OCR)

原稿を文書(テキスト)として変換する場合に選択します。

1bitモノクロ2階調で取り込みます。

テキスト変換が容易に行えるように、濃度補正、明暗調整、コントラストなどが適切に設定されます。

1bitモノクロ2階調で取り込みます。

白黒ハーフトーン

原稿をファックス送信する場合に選択します。

1bitモノクロ2階調で取り込みます。

ハーフトーン処理(網点で白黒の濃度を調整する方法)を行うことによって、擬似的に階調を作りだし、色の違いを表現することができます。

• [解像度設定]

取り込む原稿の画質を設定します。設定する値は解像度(単位dpi)です。これは、1インチあたりのドット数を表します。ドット数が多くなれば、それだけ細かい出力結果を得ることができます。

解像度が高くなると、画像データも大きくなります。プレビューして解像度を変更すると、[画像サイズ]で画像データの容量を確認することができます。

高精細(600dpi)

拡大してもきれいな画像を得たいときの解像度です。画像データのサイズが非常に大きくなり、メモリ資源が不足する場合がありますので、注意が必要です。メモリ不足のメッセージが表示されたら、CopyStudioでファイルとして保存してから利用することをお勧めします。

精細(300 dp)

きれいな画像を得たいときの解像度です。特に設定を変更しなければ、この「精細(300 dpi)」が設定されています

普通(150 dp)

一般的な解像度です。フルカラー等倍コピーであれば、この解像度でも充分きれいに印刷できます。

ドラフト(75 dp)

やや粗めの解像度です。

・[自動濃度調整]

画像の濃度を調整します。焦点の合っていない写真や黄色、赤色味を帯びた写真などを取り込む場合に自動的に補正を行います。チェックすると、効果を「プレビュー表示領域」で確認することができます。「プレビュー」を行わずに「取り込み」ボタンを押すと、一旦プレビューを行ってから画像取り込みを開始します。

・[ノイズ除去]

印刷物などの原稿を取り込む際に原稿ホルダのキズやホコリによるノイズを除去する機能です。また、印刷物を取り込む場合に発生するモアレ(干渉縞)を低減する効果があります。

・[ファイン]

原稿の質によって、取り込み原稿の濃淡のばらつきが発生した場合、そのばらつきを抑える場合にチェックします。「解像度設定」を「高品質(600dpi)」にした場合、幅4inch(約10cm)以上の画像に対しては使用できません。

[画像サイズ]..... プレビュー(試し読み)する時、原稿を取り込む時に原稿の大きさを設定します。

**・[倍率]**

取り込む画像の拡大 / 縮小率(25% ~ 800%)を設定します。設定方法は、スライダを左右に移動して変更することができます。「100%」ボタンをクリックすると、変更した倍率を原寸に戻すことができます。

- [画像容量]

Scanner Driverに設定されている設定値で原稿を取り込んだ場合の容量の概算(単位: Kbyte)を表示します。

- 画像サイズの数値設定

プレビュー表示領域に表示されている画像が出力された場合の大きさを表示します。[単位] リストボックスで単位をmm、inches、pixelsのいずれかに設定し、[縦] [横] 入力フィールドに数値を入力することで、画像の大きさを設定することもできます。

Windowsの場合は、[プレビュー表示領域] で範囲指定を行なった後、数値入力を行なってください。

[プレビュー表示領域].. 原稿のプレビューを表示し、取り込み範囲設定を行います。プレビューを表示するには、MD-1500に原稿をセットし、[Scanner Driver] ダイアログの [プレビュー] ボタンをクリックするとプレビューが表示されます。そのプレビュー画面を元に取り込み原稿の範囲指定を行います。範囲指定を行うには、マウスポインタで取り込みたい範囲をドラッグします。範囲の指定方法については、2章の「CopyStudioの使い方 原稿の一部をコピーするには」を参照してください。



参考

- プレビューを表示する前に、あらかじめマウスポインタでプレビューする原稿の範囲を設定しておくこともできます。



このように設定しておくと、枠で囲まれた四角の部分のみがプレビューされます。

- 写真サイズ用原稿ホルダでプレビューを行うと、プレビュー表示領域いっぱいに表示されます。

[画像調整].....取り込む画像の濃度や明るさを調整したり、画像に特殊効果を与えたい場合に設定します。個々の画像調整の設定には、プレビュー表示領域で設定を確認することができます。各スライダー上部のボタンが「初期値設定」ボタンとなります。これをクリックすると初期値となります。



• **[カラーマッチング]**
画像の色を原稿に合わせ、より美しい画像を取り込めるように調整します。

[カラー写真用]

カラー写真がより鮮明に表現できるように調整します。

[カラー印刷用]

印刷物がより鮮明に表現できるように調整します。

[全般 (写真 / 印刷...)]

上記の **[カラー写真用]** **[カラー印刷用]** はそれぞれの原稿をより鮮明に表現できるように調整してありますが、お使いになる原稿すべてを網羅するものではありません。印刷物の特色インクやディザ方法などにより色が合わないものもあります。このような場合に、**[全般 (写真 / 印刷...)]** を選択することで、写真 / 印刷ともにバランスのとれた調整を行います。

• **[カラーバランス]**

画像の中間調の濃度調整や、明るさ、コントラストの調整を行います。

[ガンマ補正]

原稿より中間調を明るくした画像を得たいときには、スライダーを右方向に移動して、設定値を1.00より大きくします。原稿より中間調を暗くしたい場合は、スライダーを左方向に移動して、設定値を1.00より小さくします。

[1.00] ボタンをクリックすると、設定値を1.00に戻すことができます。

[明度]

画像全体の明るさを - 50 ~ + 50 の値で設定します。

原稿より全体的に明るい画像を得たいときは、スライダーを右

方向に移動して、値を0より大きくします。原稿より全体的に暗い画像を得たいときは、スライダを左に移動して、値を0より小さくします。

[コントラスト]

画像全体のコントラストを - 50 ~ + 50 の値で設定します。原稿より全体的に明暗の強い画像を得たいときは、スライダを右方向に移動して、値を0より大きくします。原稿より全体的に明暗の弱い画像を得たいときは、スライダを左に移動して、値を0より小さくします。


• [レベル補正]

[シャープ]

画像全体のシャープさを - 3 ~ + 3 の値で設定します。原稿より全体的にシャープな画像を得たいときには、スライダを右方向に移動して、値を0より大きくします。逆にソフトな画像を得たいときは、スライダを左に移動して、値を0より小さくします。

[濃度調整]

より鮮明な画像を得るために、RGB値で表現される色の0 ~ 255値の範囲を独自に調整する機能です。RGB値の0(シャドウ)部分と255(ハイライト)近辺の値を微妙に削除する(0 ~ 255値の間をせばめる)ことで、鮮明な画像を得ることができます。

設定方法は、[自動濃度調整] のチェックをOFFにして、左右のスライダ() を移動させて0 ~ 255値の範囲をせばめます。また、左右のスポイトアイコン() でプレビュー表示域に表示された画像のハイライト部分とシャドウ部分の値を設定することができます。

[自動調整]

Scanner Driverがプレビュー画像をもとにカラー分布を調べて最適な濃度調整を行います。焦点の合っていない写真や黄色、赤色味を帯びた写真などを取り込む場合に自動的に補正を行います。

[Scanner Driver] ダイアログの [自動濃度調整] と連動しており、[Scanner Driver] ダイアログでチェックマークをONにすると、[画像調整] ダイアログ側もONになります。

• [復帰] ボタン

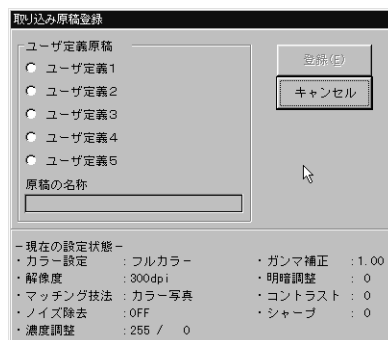
[画像調整] ダイアログの設定値を、元の状態 [画像調整] ダイアログを表示する前の状態) に戻します。

[取り込み] ボタン [Scanner Driver] ダイアログで設定された条件にしたがって、原稿が取り込まれます。原稿取り込み終了後は原稿ホルダを排出し、Scanner Driverは自動的に終了します。原稿排出後はMD-1500はオフライン状態となり画面上にメッセージが表示されず。メッセージが表示されたら、原稿を取り除いた後に [OK] ボタンをクリックします。



[用紙排出] ボタン MD-1500 に挿入されている原稿を排出します。原稿排出後はMD-1500はオフライン状態となり画面上にメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、原稿を取り除いた後に [OK] ボタンをクリックします。

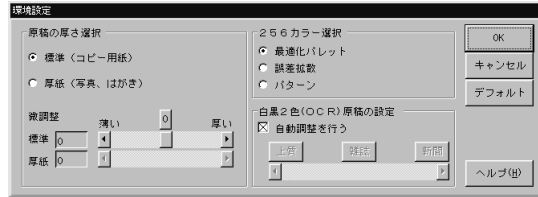
[原稿登録] ボタン このボタンをクリックすると [取り込み原稿登録] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、Scanner Driverが用意している「取り込み原稿」のほかに最大5個までユーザー独自の設定を登録することができます。ダイアログの下部には、Scanner Driverの現在の設定状況が表示されます。



独自の原稿設定を登録する手順は次の通りです。

- 1 Scanner Driverで各設定を行います。
- 2 [Scanner Driver] ダイアログの [画像登録] ボタンをクリックします。
- 3 [取り込み原稿登録] ダイアログの [ユーザー定義原稿] で [ユーザー登録 1 ~ 5] のいずれかを選択します。
- 4 [原稿の名称] にわかりやすい名称を入力します。
- 5 最後に [登録] ボタンをクリックして登録終了です。
登録すると、[Scanner Driver] ダイアログの [取り込み原稿] プルダウンメニューの選択肢の1つとして組み込まれます。

[環境設定] ボタン このボタンをクリックすると [環境設定] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、原稿の厚さの微調整や、256色で原稿を取り込む際の減色(1677万色を256変換)方法、OCR原稿を読み込む際の調整方法を設定します。



• [原稿の厚さ選択]

原稿の厚さにより、原稿を取り込む際に多少のズレが生じ、画像が乱れる場合があります。そのような場合に、このダイアログで原稿の厚さを設定することによって、紙送りの調整を行うことができます。

設定方法は、紙の種類(標準/厚紙)をラジオボタンで選択し、それぞれの [微調整] のスライダーを、厚く設定する場合は右側へ、薄く設定する場合は左側へ移動させます。

• [256カラー選択]

[Scanner Driver] ダイアログの [原稿設定] の [カラー設定] の [256カラー] を選択した場合、原稿取り込み時に1677万色から256色へ減色を行います。ここでは、その減色方法を設定します。設定を変更しなければ、[最適化パレット] 減色方法が選択されています。

[最適化パレット]

色味を調整する方法で、フルカラー画像に比べて大きく品質は劣化しません。一旦プレビューを行ってから画像取り込みを開始します。

[誤差拡散]

元のフルカラーとの誤差を周辺のドットへ拡散させ、より原稿に近い色に調整します。

[パターン]

カラーパレットの数個のドットの集まりで元のフルカラーに近い色を表現する方法です。拡大印刷時に利用する場合、[誤差拡散] よりも劣化が少なく見えます。

• [白黒2色(OCR)原稿選択]

新聞、雑誌の多くには再生紙が使われており、純白ではありません。ここでは、Scanner Driverが紙の下地を自動的に除去し、文字のみを正確に抽出できるように設定します。

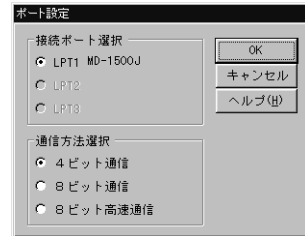
通常は、[自動調整を行う] のチェックマークをONに設定しておきます。

微調整が必要な場合は、[自動調整を行う] のチェックマークをOFFにして、スライダで微調整を行います。



[ポート設定 ボタン] ... お使いのコンピュータとMD-1500の接続設定、及び変更を行います。このボタンは、必ずプリンタの電源をONにしてからクリックします。このボタンをクリックすると[ポート設定]ダイアログが表示されます。

設定が完了して[OK]ボタンをクリックすると正常に通信可能か否かの通信テストを行い結果を表示します。



• [接続ポート選択]

プリンタが接続されているポートを選択します。

• [通信方法選択]

MD-1500は、一般的なセントロニクス準拠のパラレルインターフェイスを使用して双方向通信を行っています。双方向通信の方法は、4ビット通信、8ビット通信、8ビット高速通信の3種類があります。

[4ビット通信]

MD-1500が動作を保證するどのコンピュータでもご利用になれます。[8ビット高速通信]が正常に動作しない場合は、この[4ビット通信]を選択してください。

[8ビット通信]

コンピュータの性能によっては、能力を發揮しない、または動作しない場合があります。その場合は、[4ビット通信]または[8ビット高速通信]を選択してください。

[8ビット高速通信]

高速にデータ通信を行うためにコンピュータ内に用意されているハードウェアを使用します。このハードウェアを使用するためには、お使いのコンピュータの設定をECPモードに変更する必要があります。また、[8ビット高速通信]は高速にデータ転送を行いますので、弊社純正の接続ケーブルをご利用ください。



注意

[8ビット通信]および[8ビット高速通信]が動作しない場合は、お使いのコンピュータが8ビット双方向通信ができない機種か、またはBIOSセットアップを双方向セントロモード、ECPモードに変更する必要があります。変更方法に関しては、コンピュータのマニュアルを参照してください。お使いのコンピュータによっては、変更できない機種もあります。

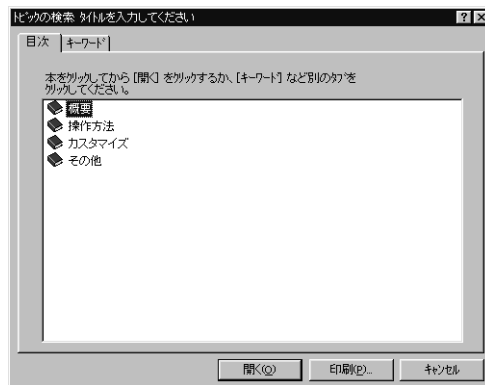


[SCSI接続 ボタン] お使いのコンピュータとMD-1500の接続設定および変更を行います。このボタンは、必ずプリンタの電源をONにしてからクリックします。このボタンをクリックすると「SCSIポートの選択」ダイアログが表示されます。



複数台のMDスキャナプリンタが接続されている場合は、若いID番号のプリンタをデフォルトとして選択します。

[ヘルプ ボタン] Scanner Driverに関するヘルプを表示します。



Macintosh版では、バルーンヘルプのみ表示が可能です。

[終了 ボタン] Scanner Driverを終了します。

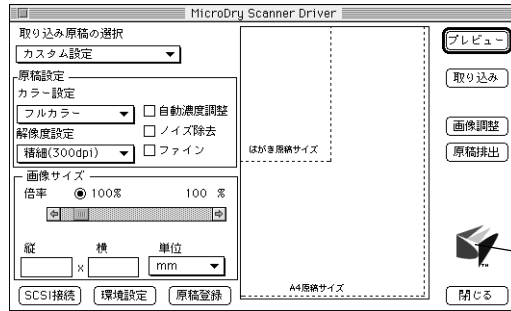
原稿ホルダが挿入されている場合は、原稿ホルダを排出します。原稿排出後はMD-1500はオフライン状態となり画面上にメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、原稿を取り除いた後に「OK」ボタンをクリックします。





[バージョン] ボタン ... このボタンをクリックするとScanner Driverのバージョンを表示します。

Macintosh版の[バージョン] ボタンは、[Scanner Driver] ダイアログの右下にあります。



第4章

他のアプリケーションからの使い方

この章では、CopyStudio以外のTWAIN対応のアプリケーションから、Scanner Driverを使う方法について説明します。

TWAIN対応のアプリケーションとは

TWAINとは、スキャナで取り込んだ画像をコンピュータに入力するインターフェースの規格です。MD-1500 Scanner Driverは、TWAIN仕様のスキャナドライバですので、TWAIN規格に対応しているアプリケーションソフトからMD-1500のスキャナ機能を使用することが可能です。

TWAIN対応のアプリケーションソフトには、次のようなものがあります。

- ALPS CopyStudioα (MDスキャナプリンタ専用)
- ALPS ImageSurfing (MD-1500に添付)
- ALPS PhotoAssistant (MD-1500に添付)
- ALPS PrintStudioα (MD-1500に添付)
- Adobe Photoshop
- Adobe PageMaker
- Adobe PhotoDeluxe

など



注意

アプリケーションがスキャナ取り込みに対応していない場合、または、アプリケーションとスキャナドライバとの相性などにより画像取り込み中にエラーが発生してしまうような場合は、次の手順でアプリケーションへ画像を取り込んでください。

1. CopyStudioを使用して、アプリケーションへ読み込みたい画像を一旦画像ファイルとして保存します。このとき、保存するファイル形式は使用するアプリケーションが読み込み可能な形式を選択してください。
2. アプリケーションを起動し、保存した画像ファイルを読み込みます。画像の読み込み方法は、使用するアプリケーションのヘルプおよびマニュアルを参照してください。

次の項では、ALPS PhotoAssistantからScanner Driverを呼び出し、原稿を取り込む方法について説明します。

TWAIN対応のアプリケーションからScanner Driverを使う

ここでは、ALPS PhotoAssistantからScanner Driverを呼び出し、写真を取り込む手順について説明します。

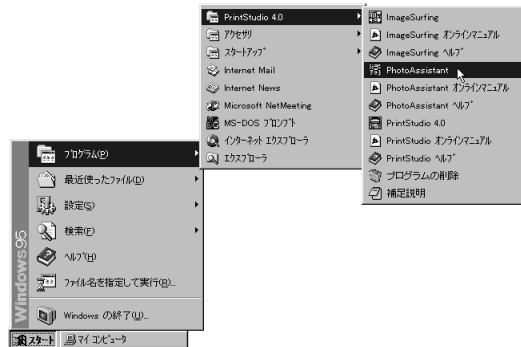
TWAIN対応のアプリケーションからScanner Driverを使うには、まずアプリケーションが使用するスキャナドライバをMD-1500 Scanner Driverに設定し、次にアプリケーション側からMD-1500 Scanner Driverを呼び出します。

Scanner Driver を有効にする

Step 1 PhotoAssistantを起動する



[プログラム]>[Alps]>[PhotoAssistant]を選択して起動します。



PhotoAssistantのプログラムアイコンをダブルクリックします。



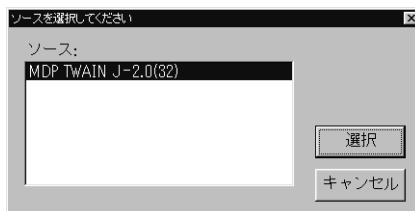
PhotoAssistant(PPC)

Step 2 TWAIN対応機を選択する



- ▼ [ファイル]>[入力用プラグ]>[TWAIN対応機器の選択]を選択します。

[ソースを選択してください]ダイアログが表示されます。



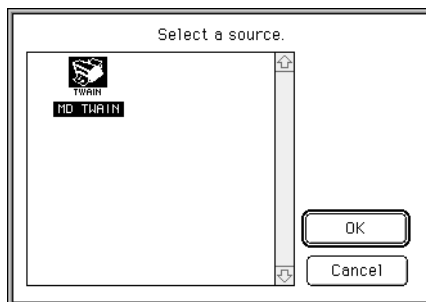
- ▼ [MDP TWAIN J2.0(32)]を選択し、[選択]ボタンをクリックします。ダイアログが閉じ、これでScanner Driverが選択されます。



参考

Windows 3.1の場合は、[MDP TWAIN J2.0(16)]となります。

- ▼ [ファイル]メニューからTWAIN対応機器選択...を選択します。



- ▼ [MD TWAIN]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。ダイアログが閉じ、これでScanner Driverが選択されます。

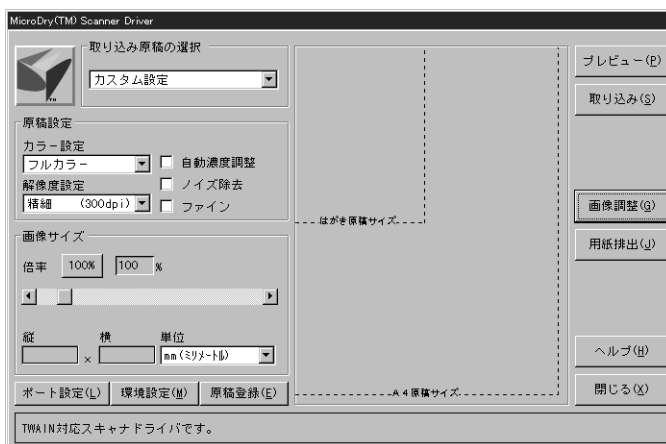
アプリケーション側から Scanner Driver を呼び出す

Step 1 写真を原稿ホルダにセットし、MD-1500にセットする

原稿ホルダに原稿をセットする方法、原稿ホルダをMD-1500にセットする方法は、1章の「スキャナへの原稿のセット方法」の項を参照してください。

Step 2 [ファイル]メニューから[TWAIN対応機器入力...]を選択する

[Scanner Driver]ダイアログが表示されます。



Step 3 Scanner Driverで、[取り込み原稿の選択]を設定する

ここでは、[カラー写真]に設定しておきます。

Step 4 [プレビュー]ボタンをクリックして写真の試し読みをする

写真のプレビューが表示されます。



Step 5 必要があれば取り込み範囲の設定や画像の調整を行う
画像の調整方法は、「第3章 Scanner Driverの使い方」を参照してください。

Step 6 [取り込み] ボタンをクリックして画像を取り込む
原稿の取り込みが開始されます。

Step 7 原稿の取り込みが終了したら、[Scanner Driver]ダイアログの[閉じる] ボタンをクリックする
原稿の取り込みが終了すると、次のダイアログが表示されます。
ここでは[OK] ボタンをクリックせず、次に進みます。



Step 8 給紙トレイから原稿ホルダを取り外す

Step 9 Step 7で表示されたダイアログの[OK] ボタンをクリックする
ダイアログが閉じ、PhotoAssistantに取り込んだ画像のウィンドウが表示されます。



これで、取り込んだ画像をPhotoAssistantで編集することができます。

付 録

MD-1500スキャナQ&A

テンポラリファイルの大きさとファイル保存時のファイルの大きさの目安は？
取り込む原稿の種類や取り込むモードの違いによって、画像の大きさや取り込み
に必要となるテンポラリファイルの容量が変わります。容量は保存時のファイル
サイズの約2倍となります。以下の表を参照して、原稿の取り込み方を決めてく
ださい。

解像度300dpiの場合

取り込む原稿	取り込み原稿の選択	カラー設定	保存時のファイルサイズ
Lサイズのカラー写真	カラー写真	フルカラー	約5MB以上
A4サイズのカラー写真	グラフィックス(256色)	256色カラー	約9MB以上
A4サイズの中間調の文書	白黒印刷物	グレースケール	約9MB以上
A4サイズの線画のイラスト	白黒文書(OCR)	白黒2色OCR	約1MB以上
A4サイズのカラー原稿	カラー写真	フルカラー	約25MB以上

解像度600dpiの場合

取り込む原稿	取り込み原稿の選択	カラー設定	保存時のファイルサイズ
Lサイズのカラー写真	カラー写真	フルカラー	約20MB以上
A4サイズのカラー写真	グラフィックス(256色)	256色カラー	約36MB以上
A4サイズの中間調の文書	白黒印刷物	グレースケール	約36MB以上
A4サイズの線画のイラスト	白黒文書(OCR)	白黒2色OCR	約4MB以上
A4サイズのカラー原稿	カラー写真	フルカラー	約100MB以上

保存時のファイルサイズは非圧縮の場合です。

原稿を取り込めませんか？

- ・固定部材の取り外しやケーブルの接続が正しく行われましたか？「MD-1500
ユーザーズマニュアル」を参照して確認してください。
- ・PC9800シリーズをお使いの場合は、動作しないコンピュータの機種やプリン
タケーブルがありますので、ご注意ください。詳しくは、「CopyStudioと
ScannerDriverの準備動作環境について」の節を参照してください。
- ・印刷出力が可能なのに原稿が取り込めない場合は、CopyStudioとScanner
Driverが正常にインストールされていない可能性があります。「MD-1500
ユーザーズマニュアル」を参照して、インストールしなおしてください。
- ・プリンタバッファを使用している場合は、双方向通信ができません。お使い
のコンピュータとMD-1500を直接接続してください。
- ・ケーブル断線の可能性があります。ケーブルの交換を行って確認してください。

取り込んだ画像をアプリケーションソフトで読み込むと画像が大きすぎて編集できないのですが？

一般に、画像を取り込むことが可能なアプリケーションソフトは、画像の画面表示方法について大きく2種類があります。

	判断する画像情報	表示方法
1	画像データサイズのみ	アプリケーションソフト側で任意に貼り付ける画像面積を設定する
2	画像データサイズ+解像度	画像データサイズ+解像度に基づき貼り付ける画像面積を設定する

1の場合、解像度を72dpiや96dpiの画像面積で処理することが多いようです。このため、300dpiもしくは600dpiで取り込んだ画像はアプリケーションに貼り付けた時点で非常に大きく表示されます。そのイメージを表現すると以下のようになります。

解像度固定で処理する場合の例

150dpiでスキャンし、貼り付けた場合の画面上の大きさ(96dpi表示の場合)	約1.5倍(面積比2.3倍)
300dpiでスキャンし、貼り付けた場合の画面上の大きさ(96dpi表示の場合)	約3倍(面積比9倍)
600dpiでスキャンし、貼り付けた場合の画面上の大きさ(96dpi表示の場合)	約6倍(面積比36倍)

対処方法

- 取り込む画像の解像度を下げることをお勧めします。
- 貼り付けた画像を選択し、四隅をドラッグして任意のサイズに変更します。

画像がぼけたり、ゆがんだり、色がにじんだりするのですが？

- 原稿が厚すぎませんか？厚すぎるとピントが甘くなることがあります。本スキャナでは、0.3mmを越える厚みの原稿を取り込むことはできません。
- 原稿は鮮明ですか。原稿がぼけているときは原稿以上に鮮明な画像は得られません。ただしScanner Driverで、[解像度設定]を[普通(150dpi)]にし、[画像調整]ボタンをクリックして表示されるダイアログの[レベル補正]で[シャープ]をプラスにして取り込みなおしてください。ある程度鮮明な画像を得られることがあります。
- 原稿ホルダの透明カバーが傷ついたり、汚れたりしていませんか。破損している場合は、新しい原稿ホルダをお求めください。

画像に横筋状のムラが発生してしまうのですが？

次の処置を行ってください。

- 読み取り濃度基準板が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、綿棒で軽く拭き取ってください。
- [ScannerDriver]ダイアログの[取り込み]の[ファイン]チェックボックスにチェックをして取り込んでください。ファインモードにすると、よりきれいな画像が得られます。

- [Scanner Driver]ダイアログの[原稿設定]の[ノイズ除去]チェックボックスにチェックをして取り込んでください。ムラを低減できる場合があります。
- 電源コードを接続した直後は、取り込んだ画像にムラが出る場合があります。接続後、10分程度放置してから画像を取り込んでください。

画像のギザギザが目立つのですが？

- 解像度が低すぎませんか。150dpiでは、画像によってギザギザが目立つこともあります。この場合、300dpi以上で取り込みなおしてください。
- 拡大していませんか。高解像度で取り込んでも、拡大すると解像度は低下します。たとえば、解像度600dpiに設定し、4倍に拡大して取り込むと、150dpi相当の画像になります。高解像度でも回避できないときは、原稿そのものを拡大プリントするなどして大きくしてから取り込んでください。
- アプリケーションに拡大時の画像補間機能がある場合は、アプリケーション側で画像拡大してから印刷してください。

周期的な縞模様がつくのですが？

印刷物を取り込んでいませんか。印刷物の多くは網点で表現されています。こうした原稿は、MD-1500スキャナの取り込み周期と干渉して、モアレ(縞模様)が発生することがあります。これは故障ではありません。取り込み原稿の種類を[カラー印刷物]または[白黒印刷物]にして取り込みなおしてください。[Scanner Driver]ダイアログの[ノイズ除去]が自動的にONになります。また、[画像調整]ボタンをクリックして表示されるダイアログの[レベル補正]で[シャープ]をややマイナスに設定するとモアレを軽減できる場合があります。

原稿の余白部分が白くならないのですが？

白く見える原稿でも、実際には用紙の白さに違いがあります。このため、白い部分が濃度を持ったデータとして取り込まれることがあります。この場合、以下のいずれかの方法で白さを調整してください。

(1) 全体を明るくする方法

[画像調整]ボタンをクリックして表示されるダイアログから、[カラーバランス]の項目の[明度]と[コントラスト]をプラス側に調整します。用紙の白さによってレベルは異なりますが、プラス10程度が目安です。

(2) 白レベルを白くしたい画像に合わせる方法

[画像調整]ボタンをクリックして表示されるダイアログから、[レベル補正]の項目の[自動調整]のチェックマークをオフにします。次に、[濃度調整]の右のスライドボタンをクリックします。その後、マウスカーソルを白く取り込みたい画像のエリアに移動してその部分をクリックすると、白の値が[255]から指定エリアの白いレベルの値に変更されます。

原稿のキズを消したいのですが？

原稿ホルダにごみがついているときは、柔らかいきれいな布で一定方向にふき取ってください。また、原稿ホルダが破損していたり、汚れている場合は、新しい原稿ホルダをお求めください。

原稿そのものにキズがある場合は、次の設定を行ってみてください。

- [Scanner Driver] ダイアログの [原稿設定] の [ノイズ除去] チェックボックスにチェックをして取り込んでください。処理時間はかかりますが、画質を大きく損なわずにキズを除去できることがあります。
- [Scanner Driver] の [画像調整] ボタンをクリックして表示されるダイアログの [レベル補正] でややぼかしてみてください。画像はぼけますが、キズも低減されます。

あまり深いキズは除去できません。上記のいずれでも除去できないときは、フォトタッチソフトなどで画像を修正する必要があります。

画像の見栄えがあまり良くないけれど？

[Scanner Driver] の [原稿設定] の [自動濃度調整] のチェックボックスをONにしてください。また、下記の方法で調整することもできます。

- [Scanner Driver] の [画像調整] ボタンをクリックして表示されるダイアログの [レベル補正] でややシャープに設定してみてください。画像の境界部が強調され、めりはりの効いた画像になります。
- [Scanner Driver] の [画像調整] ボタンをクリックして表示されるダイアログの [カラーバランス] の [コントラスト] をやや強めに設定してみてください。画像の濃淡が強調され、色の透明度が向上します。

画像全体が明るすぎたり、暗すぎたりするのですが？

[Scanner Driver] の [画像調整] ボタンをクリックして表示されるダイアログの [カラーバランス] の [明度] を調整してみてください。画像全体の明るさが変わります。中間調のめりはりが弱いときは、[ガンマ補正] で調整を行ってください。

原稿と出力の色が合わないのですが？

原稿の色を100パーセント忠実に再現することはできません。それは、色の出力方法に違いがあるからです。カラープリント写真とカラー印刷物でも色の再現方法は違います。また、ディスプレイ上の光の3原色で再現された色とカラープリンタの4色のインクで再現された色にも微妙な違いがあります。ただし、色が極端にずれるときは、次のことをチェックしてください。

- [画像調整] ダイアログで各設定を行っているときは、[Scanner Driver] ダイアログにある [復帰] または [初期値] ボタンをクリックして設定を初期値に戻してみてください。

- カラー写真とMD-1500での出力との色のずれを少なくしたいときは、[画像調整]の[マッチング技法]を[カラー写真]に設定してください。
- 印刷した用紙の色は何色ですか。MD-1500での印刷は、用紙が白色であることを前提に出力されます。白色でない場合には色が合いません。推奨の用紙をお使いください。

[カラー写真]で取り込んだ画面表示あるいはプレビュー画像が粗いのですが？
 使用しているコンピュータの表示色設定を確認して、1677万色(24bitカラー)などに変更してください(プレビュー画像は75dpiにて高速に読みとるために、画像が粗くなります)。

CopyStudioでファイル保存したファイルを別のアプリケーションで読み込む時、メモリ不足のメッセージが表示されるのですが？

一部のアプリケーションでは、大きなデータを扱えないものがあります。解像度を落とすか、取り込み画像の範囲を小さくしてください。

インストール時にエラーメッセージ「インストールに失敗しました。Code=XXXX」
 「ファイルのアクセスが否定されました。」が表示されるのですが？

すべてのアプリケーションを終了してから再インストールしてください。すでに起動中のプログラムが、書き換えたいファイルを使用中の可能性があります。

書き換えたいファイルが書き換え禁止になっているため、ファイルを上書きできない可能性があります。以下のファイルの書込属性を書き換え可能な状態に変更してください。

格納場所

Windows95 : WINDOWS¥SYSTEMディレクトリ

Windows3.1 : WINDOWSディレクトリ

対象ファイル

TWAIN.DLL、TWAIN_32.DLL、TWUNK_16.EXE、TWUNK_32.EXE

変更方法

- Windows95の場合、エクスプローラから該当ファイルのプロパティを開いて属性を変更する。
- Windows3.1の場合、DOSモードから下記DOSコマンドで変更する
 ATTRIB-R [ドライブ名] [パス名] [ファイル名]
 (例)ATTRIB-R C:¥WINDOWS¥TWAIN.DLL

[TWAIN.DLL]のバージョンが違います。再インストールしてください。とエラーメッセージが表示されるのですが？

他のアプリケーションのインストールなどによって、メッセージに表示されたファイルが古いバージョンに書き換えられた可能性があります。CopyStudio、Scanner Driverを再インストールしてください。再インストールしてもエラーが解決しない場合は、以下の理由が考えられます。

- 他のアプリケーションが対象ファイルを使用中の場合
対処方法： 作動中のアプリケーションをすべて終了してから再インストールしてください。
- インストール先以外に同名のファイルが存在する場合
対処方法： 該当ファイルを検索し、同名ファイルをWINDOWS及びWINDOWS¥SYSTEMディレクトリからすべて削除してから再インストールしてください。

画像取り込みに非常に時間がかかるのですが？

[Scanner Driver]ダイアログの[原稿設定]の[ノイズ除去]チェックボックスのチェックをOFFにしてください。

CopyStudioで取り込んだ画像サイズと印刷結果の画像サイズが異なるのですが？
以下のような場合に異なります。

[CopyStudio]の[印刷設定]ダイアログで[用紙サイズに合わせる]をチェックした場合

[Scanner Driver]の[画像サイズ]を変更した場合

画像取り込みが可能なIPC98シリーズ機種

以下にあげるPC98シリーズは、双方向通信をサポートしていませんので、画像を取り込むことはできません。なお、NEC純正の双方向増設LPTポートを使用しても画像を取り込むことはできません。

H98シリーズ、PC-9801、PC-9801BA/M2、PC-9801BA/U2、PC-9801BA/U6、PC-9801BX/M2、PC-9801BX/U2、PC-9801BX/U6、PC-9801CS2、PC-9801CS5、PC-9801CS5/W、PC-9801DA/U2、PC-9801DA/U5、PC-9801DA/U7、PC-9801DA2、PC-9801DA5、PC-9801DA7、PC-9801DS/U2、PC-9801DS/U5、PC-9801DS2、PC-9801DS5、PC-9801DX/U5、PC-9801E、PC-9801ES2、PC-9801ES5、PC-9801EX2、PC-9801EX4、PC-9801F1、PC-9801F2、PC-9801F3、PC-9801FA/U2、PC-9801FA/U5、PC-9801FA/U7、PC-9801FA2、PC-9801FA5、PC-9801FA7、PC-9801FS/U2、PC-9801FS/U5、PC-9801FS/U7、PC-9801FS2、PC-9801FS5、PC-9801FS7、PC-9801FX/U2、PC-9801FX/U5、PC-9801FX2、PC-9801FX5、PC-9801GSmodel1、PC-9801GSmodel2、PC-9801LS2、PC-9801LS5、PC-9801LX2、PC-9801LX4、PC-9801LX5、PC-9801LX5C、PC-9801M2、PC-9801M3、PC-9801N、PC-9801NA、PC-9801NA120/C、PC-9801NA/C、PC-9801NA120、PC-9801NA40、PC-9801NA40/C、PC-9801NC、PC-9801NC40、PC-9801NL、PC-9801NL/R、PC-9801NS、PC-9801NS-20、PC-9801NS/E、PC-9801NS/E20、PC-9801NS/E40、PC-9801NS/L、PC-9801NS/L40、PC-9801NS/R、PC-9801NS/R120、PC-9801NS/R40、PC-9801NS/T、PC-9801NS/T40、PC-9801NS/T80、PC-9801NX/C、PC-9801NX/C120、PC-9801P40/D、PC-9801P80/P、PC-9801P80/W、PC-9801RA21、PC-9801RA51、PC-9801RS21、PC-9801RS51、PC-9801RX2、PC-9801RX21、PC-9801RX4、PC-9801RX51、PC-9801TmodelF5、PC-9801TmodelF51、PC-9801TmodelF71、PC-9801TmodelS5、PC-9801TmodelW2、PC-9801TmodelW5、PC-9801TmodelW7、PC-9801U2、PC-9801UF、PC-9801UR、PC-9801UR/20、PC-9801US、PC-9801US40、PC-9801US80、PC-9801UV2、PC-9801UV21、PC-9801VF2、PC-9801VM0、PC-9801VM2、PC-9801VM21、PC-9801VM4、PC-9801VX0、PC-9801VX01、PC-9801VX2、PC-9801VX21、PC-9801VX4、PC-9801VX41、PC-9801XAmode11、PC-9801XAmode111、PC-9801XAmode12、PC-9801XAmode121、PC-9801XAmode13、PC-9801XAmode131、PC-9801XLmodel1、PC-9801XLmodel2、PC-9801XLmodel4、PC-9821modelS1、PC-9821modelS2、PC-9821Ae/M2、PC-9821Ae/M7、PC-9821Ae/M7W、PC-9821Ae/U2、PC-9821Ae/U7、PC-9821Ae/U7W、PC-9821Af/M9W、PC-9821Af/U9W、PC-9821Ap/M2、PC-9821Ap/M7、PC-9821Ap/M7W、PC-9821Ap/U2、PC-9821Ap/U7、PC-9821Ap/U7W、PC-9821Ap/U9、PC-9821Ap/U9W、PC-9821As/M2、PC-9821As/M7、PC-9821As/M7W、PC-9821As/U2、PC-9821As/U7、PC-9821As/U7W、PC-9821As/U8、PC-9821As/U8W、PC-9821CemodelS1、PC-9821CemodelS2、PC-9821Ne、PC-9821Ne120/W、PC-98CV21、PC-98DO、PC-98DO+、PC-98DX2、PC-98DX2/U2、PC-98DX5、PC-98LV21、PC-98LV22、PC-98NV、PC-98RA2、PC-98RA5、PC-98RLmodel2、PC-98UX41、PC-98VM11、PC-98XL2

索引

Index

記号	
256カラー	66
[256カラー選択].....	72
[4ビット通信].....	73
[8ビット高速通信].....	73
[8ビット通信].....	73
B	
BMP	61
C	
CopyStudio.....	8
J	
JPEG(高画質).....	61
JPEG(低画質).....	61
JPEG(標準).....	61
O	
[OCRアプリケーション]ボタン	54
[OCRアプリケーションを登録する].....	56
P	
PC9800	10
PhotoAssistant	46
PICT	61
S	
Scanner Driver	9, 64
[Scanner Driver]ダイアログ	65
[SCSI接続]ボタン	74
T	
TIFF(非圧縮).....	61
TWAIN仕様	2

ア

[圧縮機能を使用する]チェックボックス	55
[アプリケーションの登録]	56

イ

[印刷時のガイダンス設定]	56
[印刷設定]ダイアログ	58
[印刷の向き]	59
[印刷配置設定]	60
印刷範囲	26

オ

[応用コピー]ボタン	51
[オプション]ボタン	59

カ

[解像度設定]	66
[拡大印刷]	49, 58
[カスタム設定]	50
[画像サイズ]	67
画像サイズの数値設定	68
[画像調整]	69
[画像容量]	68
[カラー印刷物]	50
[カラー印刷用]	69
[カラー写真]	50
[カラー写真用]	69
カラー設定	66
[カラーバランス]	69
[カラーマッチング]	69
環境設定	20
[環境設定]ボタン	54, 72
[ガンマ補正]	69

ク

[グラフィックス(256色)]	50
グレースケール	66

ケ

原稿	15
[原稿登録]ボタン	71
[原稿の厚さ選択].....	72
原稿ホルダ	16

コ

高精細(600dpi).....	66
[誤差拡散].....	72
コピー	22
[コピー]ボタン	51
[コピー枚数].....	59
[コントラスト].....	70

サ

[最適化パレット].....	72
[サムネール表示エリア].....	52

シ

[自動調整].....	70
[自動濃度調整].....	67
[シャープ].....	70
[終了]ボタン	57, 74
[出力先の選択].....	51
白黒2色(OCR).....	66
[白黒2色(OCR)原稿選択].....	72
[白黒印刷物].....	51
[白黒画像(FAX...)].....	51
[白黒写真].....	50
白黒ハーフトーン	66
[白黒文書(OCR...)].....	51

セ

精細(300dpi).....	67
[接続ポート選択].....	73
[全般(写真/印刷...)].....	69

ツ

[通信方法選択].....	73
-----------------	----

テ	
テンポラリファイル	10
[テンポラリファイルの設定]	54
ト	
ドラフト(75dpi)	67
[取り込み]	66
[取り込み原稿の選択]	50, 65
[取り込み ボタン]	71
ノ	
[ノイズ除去]	67
[濃度調整]	70
ハ	
[バージョン ボタン]	57, 75
[倍率]	67
[パターン]	72
ヒ	
[表示の更新 ボタン]	53
フ	
ファイル	37, 40, 43
印刷	40
ファックス送信	43
保存	37
[ファイル削除 ボタン]	53
[ファイル操作 ボタン]	52
[ファイルの種類]	61
[ファイル保存先の設定]	55
[ファイル保存 ボタン]	51
[ファイル名変更 ボタン]	53
[ファイル名を付けて保存]ダイアログ	61
[ファイン]	67
ファックス送信	33
[ファックス送信 ボタン]	51, 53
ファックスドライバの登録	56
[復帰 ボタン]	70
普通(150dpi)	67
[プリンタ出力 ボタン]	51, 53
プリンタドライバの登録	55

[プリンタの選択].....	59
[プリンタ/ファックスの設定].....	55
フルカラー	66
[プレビュー表示領域].....	68
[プレビュー]ボタン	65
へ	
[ヘルプ]ボタン	57, 74
[編集アプリケーション]ボタン	53
[編集アプリケーションを登録する].....	46, 56
ホ	
[ポート設定]ボタン	73, 74
[保存先選択]ボタン	52
保存ファイル形式	61
メ	
[明度].....	69
ユ	
ユーザ定義 1 ~ 5	51
ヨ	
[用紙設定]ボタン	59
[用紙排出]ボタン	71
レ	
[レベル補正].....	70

Chapter
A